２０１９年度

全学教育科目履修案内

●この履修案内に記載している履修基準は２０１９年度入学者に適用します。
●休講・補講情報は学生情報システムで確認してください。

学生情報システム
https://siss.jmk.ynu.ac.jp/

横浜国立大学
高大接続・全学教育推進センター

平成３１年度（２０１９年度）学事暦 ＜履修案内用＞

学期・ターム・月			日	月	火	水	木	金	土
春学期	第1ターム	4月		1	2	3	4	5	6
			7	8	9	10	11	12	13
			14	15	16	17	18	19	20
			21	22	23	24	25	26	27
			28	29	30				
		5月				1	2	3	4
			5	6	7	8	9	10	11
			12	13	14	15	16	17	18
			19	20	21	22	23	24	25
			26	27	28	29	30	31	
		6月							1
	第2ターム		2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15
			16	17	18	19	20	21	22
			23	24	25	26	27	28	29
			30						
		7月		1	2	3	4	5	6
			7	8	9	10	11	12	13
			14	15	16	17	18	19	20
			21	22	23	24	25	26	27
			28	29	30	31			
		8月					1	2	3
	第3ターム		4	5	6	7	8	9	10
			11	12	13	14	15	16	17
			18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31
		9月	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17	18	19	20	21
			22	23	24	25	26	27	28
			29	30					
秋学期	第4ターム	10月			1	2	3	4	5
			6	7	8	9	10	11	12
			13	14	15	16	17	18	19
			20	21	22	23	24	25	26
			27	28	29	30	31		
		11月						1	2
			3	4	5	6	7	8	9
			10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23
			24	25	26	27	28	29	30
	第5ターム	12月	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17	18	19	20	21
			22	23	24	25	26	27	28
			29	30	31				
		1月				1	2	3	4
			5	6	7	8	9	10	11
			12	13	14	15	16	17	18
			19	20	21	22	23	24	25
			26	27	28	29	30	31	
		2月							1
	第6ターム		2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15
			16	17	18	19	20	21	22
			23	24	25	26	27	28	29
		3月	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17	18	19	20	21
			22	23	24	25	26	27	28
			29	30	31				

4/2（火）入学式
4/3（水）英語プレイスメントテスト（１年生のみ）
4/5（金）～8/2（金）春学期（セメスター科目）
4/5（金）～6/6（木）春学期前半（第１ターム科目）
4/5（金）～4/19（金）履修登録期間（土日除く）

4/30（火）～5/2（木）は授業を行わない
5/6（月）は授業を行う（祝休日開講日）
5/7（火）～5/9（木）履修登録確認・訂正期間
5/13（月）～5/17（金）履修登録キャンセル期間
5/18（土）～5/19（日）清陵祭（5/18（土）は準備を含む）

5/31（金）～6/6（木）第１ターム試験期間
（セメスター科目は通常授業）
6/7（金）～8/2（金）春学期後半（第２ターム科目）
6/24（月）～6/28（金）履修登録キャンセル期間
（第２ターム科目）

7/15（月）は授業を行う（祝休日開講日）

7/26（金）～8/2（金）春学期・第２ターム試験期間
（8/2（金）は試験の予備日）

8/3（土）～9/30（月）夏季休業期間（第３ターム）

28 試験期間　29 試験期間（予備日）
英語統一テスト・プレイスメントテスト
授業振替日
祝休日開講日

9/13（金）秋季卒業式・修了式（予定）

10/2（水）　秋季入学式（予定）
10/7（月）～2/12（水）秋学期（セメスター科目）
10/7（月）～12/3（火）秋学期前半（第４ターム科目）
10/7（月）～10/18（金）履修登録期間（土日除く）
10/14（月）は授業を行う（祝休日開講日）
10/23（水）～10/25（金）履修登録確認・訂正期間
11/2（土）～11/4（月）常盤祭（11/2（土）は準備を含む）

11/5（火）～11/8（金）履修登録キャンセル期間

11/27（水）～12/3（火）第４ターム試験期間
（セメスター科目は通常授業）
12/4（水）～2/12（水）秋学期後半（第５ターム科目）

12/16（月）～12/20（金）履修登録キャンセル期間
（第５ターム科目）
12/25（水）は金曜日の授業を行う（授業振替日）
12/26（木）～1/3（金）冬季休業期間

1/17（金）～1/19（日）大学入試センター試験休業日
（1/18及び1/19は大学構内入構不可）

2/4（火）～2/12（水）秋学期・第５ターム試験期間
（2/12（水）は試験の予備日）
2/13（木）英語統一テスト（英語ＬＲ）試験日
2/14（金）～3/31（火）春季休業期間(第６ターム)
2/25（火）前期日程試験（大学構内入構規制）

3/12（木）後期日程試験（大学構内入構規制）

3/24（火）卒業式・修了式（予定）

YNU的
海外志向のすすめ。

海外経験は単に語学力を磨くだけでなく、グローバル化する世界を生き抜くためのスキルを身に着けることができます。海外での様々な体験を通して、自分のキャリアと未来のためのあらゆるつながりを形成する貴重な機会となります。YNUは海外を志向する学生の皆さんを様々な形で応援しています。

YNUの留学バックアップ

- ▸まずは気楽に参加してみよう
  学内留学
- ▸留学に関する情報をキャッチしよう
  国際交流メールマガジン Global Campus
- ▸迷っているならイベントに参加！
  海外留学説明会 インターナショナル・ウィーク
- ▸さまざまな留学のカタチがあります
  YNUのサポートする 海外派遣

英語で授業を受ける　留学生と授業を受ける

グローバル教育科目

留学生と一緒に英語による授業を受けて学内留学を体験。科目を揃えて副専攻プログラム修了証書も入手しましょう。世界事情を学べる科目も多数あります。

まずは
気楽に参加
してみよう！

多言語で話す　留学生と交流する

多言語トークタイム

毎週火曜昼休み@学生センターロビー

外国人留学生と日本人学生が昼食を取りながら気軽に色々なトピックについて多言語で自由に話し合う「トークタイム」。トピックは様々で、外国人留学生との交流を深め、英語でディスカッションをする練習にもなります。誰でも自由に参加できます。

留学生と交流する　留学生を支援する

チューター制度

留学生に対して、日本人学生がチューターとして生活や勉強の手助けを行う制度です。来日直後のサポートのほか、日常の学習（日本語、専門科目）に関する手伝いや日常生活に関する手伝いをします。チューターになりたい時は、各部局の留学生担当の先生や指導教員の先生にそのことを伝えてみてください。

YNUの 学内留学

YNUでは、世界76か国・地域から留学生を受け入れており、本学の全学生のうち留学生が占める割合は約10%と大変高い比率となっています(2018.11.1 現在)。中国、韓国、ベトナムのほか、マラウイ、モザンビーク、ガーナ、ハイチなど様々な国・地域からの留学生がYNUで学んでいます。

留学生の受入状況は、ウェブサイトで確認できます。
▸http://www.ynu.ac.jp/international/accept/circumstance.html

留学生を支援する

日本語サポーターバンク

国際教育センターの日本語クラスをのぞいてみませんか。「時間のある時に留学生の日本語会話の相手になりたい」「留学生と交流経験がないので、在学中に機会を作りたい」など、どんな動機でも歓迎です。一回限りの参加でも、英語に自信がなくても大丈夫です。

▶http://www.isc.ynu.ac.jp/support/bank/

大学の国際的活動をサポートする

学生国際ボランティア

学生国際ボランティアは、学生の立場や視点から大学の国際的活動をサポートする大学公認ボランティアグループです。現在20名の日本人学生および留学生が活動しています。大学の更なる国際化のために、一緒に活動してくれる学生を今年度も募集します！詳細は大学サイトにて。

▶http://www.ynu.ac.jp/campus/support/volunteer/international.html

学生による留学および留学生支援活動も活発に行われています

留学生を支援する　留学生と交流する

国際教育センター105

（国際戦略推進機構長公認組織）

平日 11:30 ～ 14:30
@国際教育センター２階

国際教育センター交流・相談室 105 では、日々の活動の他、学生スタッフが留学生と一般学生の交流イベント（ウェルカムパーティー、交流合宿、BBQ パーティー等）を定期的に開催しています。

▶http://ynu-isc-room105.jimdo.com/

留学生を支援する　留学生と交流する

ISL（International Students Lounge）

（国際戦略推進機構長公認組織）

月・火・水・金 / 12:10 ～ 12:50
@ローソン内

ISLは主として理工系の留学生支援を目的に活動をしています。日常で困ったことへの対応、イベントの開催などです。学生スタッフも募集中です。詳しくは下記サイトにて！

▶http://ynu-isc-isl2015.jimdo.com/

留学準備を行う

En II （国際戦略推進機構長公認組織）

留学準備・支援を行っています。

国際交流メールマガジン
Global Campus

メーリングリストに登録しておくと、留学・国際交流関連情報をメールマガジンで受信することができます。

登録を希望する学生は YNU ネットアドレスのアカウント (**@ynu.jp**) から、件名に「**Global Campus 登録希望**」と記載し、空メールを kokusai.shien@ynu.ac.jp まで送ってください。

なお、YNU ネットアドレス以外からの登録は受付けませんのでご注意ください。

▶http://www.ynu.ac.jp/international/globalcampus/

留学生と交流する　留学生を支援する

『留学生との交流ハンドブック』

留学生と話してみたい、留学生と友達になりたいという学生は、『留学生との交流ハンドブック』を読んでみよう！

▶http://www.isc.ynu.ac.jp/support/pdf/koryu_handbook.pdf

YNU 横浜国立大学

連絡・問合せ先：**横浜国立大学 国際教育課**（学生センター２階）

○目次

Ⅰ．はじめに
　１．全学教育科目履修案内について
　２．掲示板確認の励行について
　３．授業科目 WEB シラバスについて
Ⅱ．全学教育科目とは
　１．横浜国立大学の教育目標について
　２．全学教育科目の目的について
　３．全学教育科目の特色について
　４．全学教育科目の編成について
Ⅲ．全学教育システムの仕組み
　１．学期と授業時間
　２．全学教育科目の履修の流れ
　３．全学教育科目の履修手続き
Ⅳ．全学教育科目の履修方法
　１．全学教育科目履修基準について
　２．全学教育科目の履修登録単位数の上限について
　３．全学教育科目の履修について
　４．基礎科目の履修について
　５．英語科目の履修について
　６．初修外国語科目の履修について
　７．健康スポーツ科目の履修について
　８．グローバル教育科目の履修について
　９．イノベーション教育科目の履修について
　１０．高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）について
　１１．放送大学科目の履修について
　１２．留学生のための授業科目について
　１３．教育職員免許状について
Ⅴ．全学教育科目の単位の認定
　１．定期試験について
　２．定期試験の受験上の注意について
　３．追試験について
　４．授業科目の成績評価について
Ⅵ．学外や海外における授業科目の履修等
　１．修得単位の認定について
　２．横浜市内大学間単位互換制度の履修について
　３．放送大学単位互換制度（特別聴講学生）について
　４．派遣留学先の授業科目の認定について
Ⅶ．YNU 学生ポートフォリオについて
Ⅷ．2019 年度開講全学教育科目一覧

Ⅰ．はじめに

１．全学教育科目履修案内について

全学教育科目履修案内は、横浜国立大学の学生として、全学教育科目の授業を履修するにあたり、必要な情報を記載しています。学生のみなさんは、所属学部の履修案内（履修手引）により全学教育科目の履修基準（卒業に必要な修得すべき単位数）等を確認の上、この履修案内と時間割表（別冊）とともに、全学教育科目の WEB シラバスを参照して、無理なく授業に出席すること、これに加えて自宅等での十分な授業外学修時間が確保できるよう履修計画を立ててください。

この履修案内は、学生のみなさんが卒業するまで 4 年間使用するものですので、紛失しないよう大事に扱ってください。また、疑問な点や不明なことがあれば、独自に解釈せず、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

所属学部	所属学部の履修案内の冊子名称	所属学部の学務担当係
教育学部	履修手引	学務第一係（教育学系事務棟 S3-3）
経済学部	学部教育履修案内	経済学務係（経済学部 1 号館 N4-1）
経営学部	履修案内	経営学務係（経営学部 1 号館 N3-4）
理工学部	理工学部履修案内	理工学部教務係（理工学系事務棟 N8-4）
都市科学部	都市科学部履修案内	都市科学部学務係（本部西棟 N2-3）

※学務担当係の業務時間は、平日の 8 時 30 分～17 時 00 分です。
　ただし、12 時 45 分～13 時 45 分は窓口業務を行っていません。

２．掲示板確認の励行について

全学教育科目に関する学生への連絡は、「所属学部の掲示板」または「学生情報システム」の掲示板により行います。この履修案内に変更が生じた場合も同様であり、掲示板の見落としにより、授業のオリエンテーションを欠席したり、休講や教室変更の情報が得られなかったり、レポートの提出期限に遅れたりなど不利益を生じることがあります。

大学生活において、学生自身の行動に責任を負うことが大学生として最低限のルールであり、学生自身の不注意により生じた不利益は自己の責任となります。

なお、全学教育科目の休講・補講に関する連絡は、「横浜国立大学ホームページ」→「学生生活」→「学生情報システム」（https://siss.jmk.ynu.ac.jp/）で見ることができます。

３．授業科目 WEB シラバスについて

授業科目 WEB シラバスは、各年度開講する授業概要（授業計画、履修目標・到達目標、成績評価の方法と基準、教科書・参考書等）に関する情報が掲載されています。

WEB シラバスは「横浜国立大学ホームページ」→「学生生活」→「学務情報システム」（https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu/）→「シラバス検索」で見ることができます。

Q：シラバスとは何ですか？

A：「シラバス（Syllabus）」とは、授業科目の概要（学生の学修計画）を示したものです。

授業科目ごとの授業内容、履修目標・到達目標、成績評価の方法と基準、教科書・参考書等が明示されており、学生のみなさんが多くの授業科目の中から選択する際の道しるべとなる有益な情報がたくさん盛り込まれています。履修登録を行う前に、履修しようとする授業科目の詳細を必ず確認しましょう。

また、シラバスは、授業の履修途中において学修を進める上で役立てることができます。例えば、授業時間外の学修内容、参考図書、参考 URL、成績評価の基準など学修に役立つ情報が示されています。シラバスをプリントアウトして授業のファイルに入れて毎回持参する、ノートに貼り付けるなどしておくとよいでしょう。

シラバス項目例

授業の計画	授業全体のスケジュールと各回の授業内容を示しています。学修計画を立てる際の参考にしてください。
授業時間外の学修内容	授業全体を通して授業前に予習すべき内容、授業後に復習すべき内容を示しています。単位は授業時間前後の予習復習を含めて認定されます。
履修目標	授業で扱う内容（授業のねらい）を示す目標です。より高度な内容は自主的な学修で身につけることを必要としています。履修目標を超えると成績評価「秀」となります。
到達目標	授業を履修する学生が最低限身につける内容を示す目標です。到達目標を達成すると成績評価「可」となりますが、さらなる学修を必要としている段階です。
成績評価の方法	成績評価の方法と評価の配分を示しています。また、成績評価の基準として、授業別ルーブリックが表示される場合があります。評価項目と成績評価の基準との関係性が確認できます。
授業の方法	授業担当教員がどのように進めるのか、課題提出などの情報もあわせて示しています。学修計画を立てる参考にしてください。

Q：学修計画（履修時間割表）が正しく作れるか不安です。

A：大学では、学修計画（履修時間割表）を学生自身で作成することになります。この履修案内と所属学部の履修案内（履修手引）を授業開始前まで十分に理解しましょう。

履修時間割表は、所属学部のカリキュラムツリーや履修モデル等を参照しつつ、①必修科目、②選択必修科目、③選択科目の順に授業を選んでいくとスムーズに作成できます。履修登録は、履修登録期間、履修確認・訂正期間、履修登録キャンセル期間のそれぞれの期間（P.11）を把握し、これら期間内に間違いがないよう手続きしてください。

もし何の授業科目から履修すればよいのか少しでも不安があるときは、分からないことをよく整理して、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

Ⅱ．全学教育科目とは

１．横浜国立大学の教育目標について

本学は、専門性を基礎としつつ調和のとれた教育体系のもと、主体性と倫理性を養う豊かな教養教育を行い、少人数教育と実践的教育の伝統的な強みを活かしてグローバル新時代に求められる多様な視点を有する広い専門性を持った実践的人材を育成します。

特に、アジア等から多くの留学生が学び、留学生比率が高いという本学の特色をさらに強化し、国際性が豊かで、共生社会の構築に貢献する教育拠点を目指しています。

２．全学教育科目の目的について

本学は、従来の教養教育・専門教育という枠組みを廃止し、「全学教育」「学部教育」から構成する“学士の学位を授与する教育課程プログラム”（学士プログラム）単位でカリキュラムを編成しています。全学教育科目とは、教養教育の目標実現に向けて全学部を横断して開講する授業科目です。

＜教養教育の目標＞　横浜国立大学の教養教育は、実践性、先進性、開放性、国際性の 4 つの精神の下、次の 4 つの目標の実現を目指します。

１．さまざまな学問を主体的に学び、幅広い教養を身に付け、専門分野に必要な基礎学力を修得する。
２．現代社会が直面する諸課題を論理的・批判的・創造的に考える力を養う。
３．国際感覚を養い、異文化への理解を深め、コミュニケーション力を高める。
４．人としてあるべき姿を自覚した倫理観と社会を構成する者としての責任感を育む。

３．全学教育科目の特色について

全学教育科目は、教養教育の目標を実現し、全学部を横断した授業開講により学問の多様性を幅広く修得させるとともに、学年（年齢）や人種を越えたダイバーシティの視野を広げる高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）を導入しています。本学の全学教育システムは、学部教育科目と並行して学部 4 年間を通じた履修（いわゆるパラレル型履修）とともに、次のような特色があります。

＜全学教育科目の特色＞

①学生の所属学部の学科・課程・EP 等（以下、学科等）（学士プログラム）が指定する授業科目を履修
②順次性のある体系的に科目履修を可視化する科目ナンバリングを活用
③全学教育科目の履修登録の上限を学期 12 単位に設定。ただし、グローバル教育科目の指定科目は学期 12 単位を超えて履修可
④英語教育はすべて TOEFL-ITP レベル別指定クラス編成を導入し必修化
⑤初修外国語教育（英語以外）は履修年次の学部指定による多言語から選択
⑥高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）を導入し、3－4 年次の高学年において所属学部が指定する授業科目を履修
⑦大学院全学教育科目のうち学部生に開放している科目は、学部４年次に履修することが可能

Q：学士プログラムとは何ですか？

A：我が国では、学部教育課程を「学士課程」、大学院教育課程を「修士課程」「博士課程」「専門職学位課程」といいます。学生のみなさんが所属する学部の学科等には、“学士の学位を授与する教育課程プログラム”（学士プログラム）が置かれ、所属する学部の学士プログラムの卒業認定を受けて、学長から「学士」の学位が授与されます。

学士プログラム

学部名	授与する学位（専攻分野）
教育学部	学士（教育）
経済学部	学士（経済学）
経営学部	学士（経営学）
理工学部	学士（理学）、学士（工学）
都市科学部	学士（学術）、学士（工学）、学士（環境学）

Q：大学の履修登録はどうするのですか？

A：新入生のみなさんの多くが最初に戸惑うのは履修登録です。高校までは学校が定めた時間割で授業を受けていましたが、大学では学生自身が履修する科目を選び、履修時間割表を作成します（P.11）。もちろん、すべて自由に選べるものではなく、主に 1～2 年次に履修する基礎科目や英語科目、学部学科ごとに必修科目と選択科目等があります。

また、卒業に必要な単位数や科目区分ごとに必要な履修の要件、これら履修できる単位数の上限など学部の学科等（学士プログラム）により異なります。

この冊子「全学教育科目履修案内」と「所属学部の履修案内（履修手引）」の両方で必ず確認してください。

Q：授業の単位は高校と同じですか？

A：受験競争を勝ち抜いてきた新入生のみなさんにとって「学ぶ」とは、いかに早く正解に到達することだったのではないでしょうか。“大学で学ぶ”とは、授業を単に聞いて覚えることではなく、学生自身で考えることから始まり、自分でテーマを見つけ、仮説を立て、思考したり、調べたり、実験したりしながら、真理に迫るプロセスのことです。大学の学び方で大事なことは、授業の《単位》という概念です。

本学の学則では、「1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」（第 44 条）と定めています。一般的な 2 単位授業は 90 時間の学修が必要とされます。1 回 90 分（2 時間換算）の授業を 15 回履修すると合計 30 時間（換算）となりますので、この残り 60 時間は学生自身が授業の予習・復習、レポートなどの課題、その関連する内容の自発的な授業外学修が必要となるのです。すなわち、大学教員から授業中に与えられた課題をこなす受動的な学びではなく、授業から触発された関心や問題意識により自ら探究する《主体的な学び》を期待しています。

このような“大学の学び”を十分に理解し、学修時間をしっかり確保できるよう無理のない 4 年間の履修計画を立ててください。

４．全学教育科目の編成について

全学教育科目は、基礎科目（人文社会系科目、自然科学系科目）、外国語科目（英語科目、初修外国語科目、日本語科目）、健康スポーツ科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目から編成されています。

これらのほか、幅広い教養や自らの関心を深め、視野を広げるため、基礎科目と外国語科目において、放送大学科目（特別聴講学生）を履修することができます。

（１）基礎科目

教養教育の中心となる科目群であり、基礎学力、論理的思考力、問題解決能力など学部生として、また社会の一員として基本的な知識と教養、学部教育に必要な知識を身に付けます。基礎科目は、人文社会系科目と自然科学系科目から編成されています。

（２）外国語科目

外国語科目は、英語科目、初修外国語科目、日本語科目から編成されています。

①「英語科目」

すべて TOEFL レベル別の指定クラス編成とし、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が指定する英語科目を履修します。英語実習４科目４単位を必修とし、２年次の英語演習を１科目２単位履修するためには TOEFL-ITP450 点以上を、英語演習２科目４単位履修するためには TOEFL-ITP500 点以上のスコアを必要とします。本学では、TOEFL-ITP520 点の取得を目標としています。

この TOEFL-ITP テストは、入学時（4 月）にプレイスメントテストとして、1 年次の秋学期末（2 月）に英語統一テストとして年 2 回実施します。

このほか希望学生向けにキャンパス内で TOEFL-ITP（学内・不定期実施）を実施します。

②「初修外国語科目」

初修外国語科目は、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、中国語、ギリシア語、ラテン語の 7 言語を開講し、学生の所属学部ごとに指定された履修年次（1 年次または 2 年次いずれかの春学期、ただし教育学部を除く）から履修します。

なお、2017 年度以前入学生は朝鮮語も履修することができます。

③「日本語科目（留学生向け）」

日本語科目は、留学生のみが履修できる科目として開講し、大学で学習する上で必要な日本語力を育成します。入学時の日本語プレイスメントテストにより、1 年春学期に履修する日本語クラスのレベル（中級・上級）を指定します。外国語科目との代替単位は所属学部の学科等（学士プログラム）により異なります。

（３）健康スポーツ科目

健康スポーツ科目は、スポーツを楽しむことを通じ、心身の健康、体力の向上、生涯スポーツ活動への

関心を高め、心身のバランスのとれた学生を育成します。世界の長寿国である日本の平均寿命は高いものの健康寿命との差は10歳以上あります。健康寿命が長い人と短い人の差は引退後の日常生活ではなく、とりわけ10代後半から20代までの生活習慣（運動や食生活）の差にあります。わが国では、小学校・中学校・高等学校において体育は必修科目でありますが、本学では教育職員免許状取得学生以外は選択科目です。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、スポーツへの関心が高まっている現在、自分のからだを育てるスポーツの重要性を実感できるのが、健康スポーツ科目です。

（4）グローバル教育科目

グローバル教育科目は、グローバル人材に必要とされる主体的な異文化適応力や外国の知識・教養などを学ぶ科目です。

①「世界事情科目」

21世紀グローバル新時代では、世界的な経済発展の軸がシフトしたアジア等新興国の多様な社会制度、文化、宗教や商慣習等の理解が重要であり、これら新興国等の国や地域別の事情を学ぶ新しいジャンルの授業科目です。また、世界事情の理解を深めるための授業科目も含みます。これとは別に留学生のための授業科目として「日本事情」を開講します。

②「国際交流科目」

グローバル教育科目（国際交流科目）は、都市科学部都市社会共生学科及び国際戦略推進機構が共同運営する「YOKOHAMA Creative-City Studies(YCCS)特別プログラム」の英語による授業科目です。これらの科目はYCCS特別プログラム学生（留学生）や外国の協定校からの短期交換留学生を対象とした科目ですが、すべての学部生が履修できます。英語を通じて知識やスキルを学ぶ科目や留学生と協働する授業で異文化コミュニケーションを実践する科目によって構成されています。

③「海外研修」

国際戦略推進機構が実施する海外（語学）集中キャンプや海外ショートビジット（SV）等により単位が認められる場合の授業科目です。なお、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）により卒業に必要な単位には算入されない場合がありますので、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

（5）イノベーション教育科目

イノベーションとは、新しい価値の創造をもたらす革新のことです。イノベーション教育科目では、イノベーションの基本と価値観やパラダイムのイノベーションについて学ぶ入門的基幹知（領域）、科学技術そのもののイノベーションについて学ぶ技術革新思考（領域）、制度や社会システムのイノベーションについて学ぶ社会実装戦略（領域）、主体的な学びの姿勢を養い自律的キャリア形成を促すキャリア形成実践知（領域）の4つの領域を設定しています。

（6）学部向け大学院全学教育科目

大学院の授業科目は、原則として科目を開設する研究科・学府の学生しか履修できませんが、すべての

研究科および学府の学生が履修できる科目のことを大学院全学教育科目といいます。この大学院全学教育科目のうち、学部生に開放している科目を「学部向け大学院全学教育科目」といい、学部４年次に履修することが可能です。なお、修得した単位の取扱いとしては、都市科学部以外は卒業に必要な単位には算入されませんので、注意してください。

2019 年度は、大学院副専攻プログラム「統合的海洋管理学」のコア科目及び関連科目が履修できます。今後開講科目を充実していく予定です。

Q：大学の授業は難しくないですか？
A：大学の授業、例えば講義形式の授業を受講すると、初めの頃は難しく感じるでしょう。高校までの授業とは、かなり違った方法で授業が進んでいくからです。 大学の授業は、板書をノートに取って、あるいは配付されたスライドの内容を覚えるだけでは本当に学んだことになりません。授業の内容は、高校よりも高度に専門的となり、学生自身で考えるプロセスを踏んでいかないと次第に難しくなっていきます。 大学の授業は、学生のみなさんにある決まった知識を与えているのではなく、学生自身で考えるための材料を与えています。“大学で学ぶ”とは、授業を単に聞くことではなく、学生自身で考えることから始まります。疑問に感じたら、授業担当の教員に質問することが自分自身で考える良いきっかけになります。図書館に行って関連する書籍や文献を探して読んでみることもいいですね。

Ⅲ．全学教育システムの仕組み

１．学期と授業時間

（１）２学期６ターム併用制について

本学の学事暦は、2 学期 6 ターム併用制を採用し、授業科目はセメスター科目（学期科目）とターム科目があります。

セメスター科目は、1 年間を春学期と秋学期の 2 つの学期に分け、休業期間を除く 16 週の授業期間で完結する科目です。

ターム科目は、1 年間を 6 つのタームに分け、春学期授業期間（第 1・第 2 ターム）、秋学期授業期間（第 4・第 5 ターム）で開講し、講義科目の 1 単位は 1 ターム 8 週（2 単位の場合は 1 ターム週 2 回 8 週）の授業期間で完結する科目です。

また、夏季休業期間（第 3 ターム）、春季休業期間（第 6 ターム）には、ターム科目の集中講義を開講する場合があります。

<table>
<tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">春学期</td><td colspan="6">秋学期</td></tr>
<tr><td colspan="4">春セメスター科目</td><td colspan="2">夏季休業期間</td><td colspan="4">秋セメスター科目 休</td><td colspan="2">春季休業期間</td></tr>
<tr><td colspan="2">第1ターム科目</td><td colspan="2">第2ターム科目</td><td colspan="2">第3ターム科目</td><td colspan="2">第4ターム科目</td><td colspan="2">第5ターム科目</td><td colspan="2">第6ターム科目</td></tr>
</table>

（２）全学教育科目の授業科目について

全学教育科目の授業科目は、基本的にセメスター科目で開講され、春学期または秋学期に 16 週の授業期間で実施します。

ただし、理工学部・都市科学部が開講する全学教育科目（基礎科目）の一部は、ターム科目 1 単位で開講されます。第 1・第 2 ターム（春学期）または第 4・第 5 ターム（秋学期）連続 16 週の授業期間で実施され、実質的にはセメスター科目と同様の授業期間となります。

例えば、生物の世界Ⅰ（第 1 ターム 1 単位）、生物の世界Ⅱ（第 2 ターム 1 単位）は 2 科目セット履修を奨励しますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

（３）学事暦について

学事暦（前づけ）は、1 年間の行事予定（入学式、定期試験や大学祭等）を次の記号で表示します。

無地（黒字）	授業を開講する日です。
灰地（黒字）	授業を開講しない日です。
太枠無地（黒字）	祝日において授業を開講する日です。
○囲み（黒字）	英語統一テストの実施日で 1 年生は原則として受験します。
黒地（白字）	定期試験期間です。なお、セメスター科目の場合、春学期前半（第 1 ターム）と秋学期前半（第 4 ターム）の試験期間は、通常どおり授業を行います。
灰地（白字）	定期試験期間の予備日です。なお、ターム科目の春学期前半（第 1 ターム）と秋学期前半（第 4 ターム）の試験の予備日は、あらかじめ設定されていませんので、開講部局において別に定めます。
◇囲み（黒字）	授業振替日です。2019 年 12 月 25 日（水）は金曜日の授業を実施します。

（4）授業時間について

本学の授業時間は、以下のとおりです。

時　限	授業時間
第１時限	８：５０～１０：２０
第２時限	１０：３０～１２：００
第３時限	１３：００～１４：３０
第４時限	１４：４０～１６：１０
第５時限	１６：１５～１７：４５
第６時限	１７：５０～１９：２０
第７時限	１９：２５～２０：５５

Q：ターム科目をあまり見かけないのですが？

A：2 学期 6 ターム併用制は、2017 年度から導入し、ターム科目は都市科学部を中心に開講しています。したがって、現時点では都市科学部以外の学部では、あまり見かけない開講方法ですが、今後少しずつ開講されていく予定です。

Q：2 科目セット履修したターム科目「生物の世界Ⅰ・Ⅱ」の第 1 ターム開講科目の単位は修得し、第 2 ターム開講科目の単位は落としましたが、どうすればいいですか？

A：全学教育科目のほとんどがセメスター科目（16 週）ですが、ターム科目（8 週）が一部存在します。全学教育科目のターム科目は「Ⅰ・Ⅱ」と 2 ターム連続して開講されるため、2 科目セット履修を奨励していますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

したがって、「不可」となった第 2 ターム開講科目のみを翌年度以降に再履修するか、履修を放棄するかになります。ただし、履修を放棄する場合は、GPA の計算上不利になるので注意してください。

また、教職課程の「教科及び教科の指導法に関する科目」の場合は、2 科目セット履修が義務付けられる場合がありますので、必ず確認してください。

Q：英語統一テスト（TOEFL-ITP テスト）は必ず受講するのですか？

A：英語統一テスト（TOEFL-ITP テスト）を 1 年生は原則受験しなければなりません。4 月プレイスメントテストは「TOEFL レベル別クラス編成」のため、2 月英語統一テストは「英語 LR」の定期試験として実施します。

なお、必修科目の「英語 LR」は、2 月英語統一テストの際に TOEFL-ITP430 点以上のスコアを獲得できないと単位を修得できませんので、2 年次に再履修となります。

２．全学教育科目の履修の流れ

全学教育科目の授業開始・履修登録から定期試験までの流れは、次のとおりです。

①授業開始日

春学期	春セメスター／第１ターム　：　２０１９年　４月　５日（金）～ 第２ターム　：　６月　７日（金）～ 第３ターム（夏季休業期間）：　８月　３日（土）～
秋学期	秋セメスター／第４ターム　：　２０１９年１０月　７日（月）～ 第５ターム　：　１２月　４日（水）～ 第６ターム（春季休業期間）：　２０２０年　２月１４日（金）～

②履修登録期間

春学期	春セメスター／第１・第２・第３ターム ２０１９年　４月　５日（金）～　４月１９日（金）土日は除く
秋学期	秋セメスター／第４・第５・第６ターム ２０１９年１０月　７日（月）～１０月１８日（金）土日は除く

※履修希望学生が履修定員を上回る科目は授業開始第１週目または第２週目に「受講調整」を実施する。
※第３ターム（夏季休業期間）、第６ターム（春季休業期間）の別に定める授業科目がある。

③履修確認・訂正期間

春学期	春セメスター／第１・第２・第３ターム ２０１９年　５月　７日（火）～　５月　９日（木）
秋学期	秋セメスター／第４・第５・第６ターム ２０１９年１０月２３日（水）～１０月２５日（金）

④履修登録キャンセル期間

春学期	春セメスター／第１ターム ２０１９年　５月１３日（月）～　５月１７日（金） 第２ターム＜キャンセル手続きは別に定める＞ ２０１９年　６月２４日（月）～　６月２８日（金）
秋学期	秋セメスター／第４ターム ２０１９年１１月　５日（火）～１１月　８日（金） 第５ターム＜キャンセル手続きは別に定める＞ ２０１９年１２月１６日（月）～１２月２０日（金）

※第３ターム（夏季休業期間）、第６ターム（春季休業期間）は別に定める。

⑤定期試験期間

春学期	第１ターム ２０１９年　５月３１日（金）～　６月　６日（木） 春セメスター／第２ターム ２０１９年　７月２６日（金）～　８月　２日（金）
秋学期	第４ターム ２０１９年１１月２７日（水）～１２月　３日（火） 秋セメスター／第５ターム ２０２０年　２月　４日（火）～　２月１２日（水）

※第３ターム（夏季休業期間）、第６ターム（春季休業期間）は別に定める。

（１）履修登録・履修登録期間について

履修登録とは、その学期（セメスター科目・ターム科目）に履修しようとする授業科目を登録する手続きをいいます。

履修登録は、春学期と秋学期の各学期に分けて行います。また、ターム科目の履修も同様に学期ごとに行い、例えば第 1 ターム、第 2 ターム、第 3 タームに履修する授業科目は春学期履修登録期間に科目登

録を行います。

学期	履修登録対象科目
春学期	通年科目、春セメスター科目、第１ターム・第２ターム・第３タームに開講する科目
秋学期	秋セメスター科目、第４ターム・第５ターム・第６タームに開講する科目

履修登録は、学部指定のパソコン教室や自宅等からＷｅｂ上の「学務情報システム」にログインし、「履修登録期間」内に必ず手続きを終える必要があります。

なお、学務情報システムの操作方法は「学生便覧」を参照してください。

（２）履修確認・訂正期間について

履修確認・訂正期間には、履修時間割表を各自で印刷し、各自の履修計画どおりに履修登録されているか確認を行います。

履修確認の結果、履修計画どおり登録できなかったり、受講調整による履修不許可であったり、エラー科目があったりする場合は、訂正期間内に訂正を行います。なお、履修登録期間内に履修登録をしていないと、訂正を行うことができませんので、注意してください。

（３）履修登録キャンセル期間について

履修確認・訂正期間の後に、授業内容が学生自身の予想や理解と異なっていた理由等により当該科目の履修を取りやめたい場合は、「履修登録キャンセル期間」内に学務情報システムで手続きを行います。履修登録のキャンセル以外の手続はできません。第 2 ターム科目と第 5 ターム科目の「履修登録キャンセル期間」は、学務情報システムで履修登録のキャンセルができませんので、別に掲示板で連絡します。

履修登録のキャンセル手続きを行わずに履修を取りやめた場合は、その科目の成績は「不可」として取り扱われ、GPA の計算上不利になるので注意してください。

なお、第３ターム（夏季休業期間）と第６ターム（春季休業期間）における集中科目等の履修登録キャンセル期間は、別に設けられている場合がありますので、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

（４）補講の実施について

全学教育科目では、台風等気象警報の発令等による休講により生じた授業内容の不足分を補うため、科目担当教員の判断により授業開講日以外に補講を実施することがあります。補講の実施日及び時限等については、別に掲示板等で連絡します。

（５）定期試験について

全学教育科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

試験は、原則としてセメスター科目、ターム科目ごとに定期試験期間を定めていますが、科目担当教員の判断により定期試験期間以外に行うことがあります。

３．全学教育科目の履修手続き

全学教育科目の履修には、履修登録を行う必要があります。

履修登録の方法及び日程については、この履修案内のほか、所属学部のオリエンテーションまたは掲示板により連絡します。特に、英語科目は入学時のプレイスメントテスト（TOEFL-ITP テスト）によるレベル別指定クラスとなりますので、必ず掲示板を確認してください。

（１）受講調整

全学教育科目は、適正な授業運営や教育効果の向上、教室の収容能力により各授業科目に履修定員が設定され、履修学生数の上限を定めています。履修を希望する学生が当該授業科目の履修定員を上回る場合は受講調整を行います。事前に履修希望を申し出なかった学生（受講調整を実施する日に授業を欠席した者）は履修できません。

受講調整は、履修希望申請用紙（マークカード）による「無作為抽選」のほか、授業科目の内容によっては科目担当教員が定める方法で実施されます。なお、必修科目の履修希望学生と 3 年次・4 年次以上の履修希望学生が優先されることになります。

受講調整の結果は、原則として、受講調整を実施した日の翌々日（翌々日が土、日曜日、祝日の場合はその次の授業日）に各学部の掲示板で発表します。受講調整を実施した科目は、受講を許可された学生しか履修登録できないので注意してください。

（２）履修登録後の留意点

履修登録完了後（訂正期間後）は登録した科目の変更は認められません。学生自身が必ず学務情報システムから履修時間割表を印刷して内容を確実に確認してください。

履修確認･訂正期間後に本人の確認不足等を理由により履修登録科目の訂正を申し出ても認められません。

履修登録後、登録授業科目を履修しない場合（授業内容が予想や理解と異なっていた等）は、履修登録キャンセル期間中に履修科目のキャンセル手続きを行うことができます。手続きをしない場合は、当該授業科目の評価は「不可」となり、GPA の計算上不利になるので注意してください。

Q：履修時間割表には、月曜日から金曜日まで授業を入れなければならないですか？
A：高校までとは異なり、卒業に必要な科目・単位数を確認し、無理なく十分な学修時間が確保できるよう履修計画（履修時間割表）を作成しましょう。また、所属学部では、履修登録の上限（全学教育科目は学期 12 単位）が設定されており、必ずしもすべての曜日・時限に授業が入ることはありません。

Q：全学教育科目は、初回授業から必ず教科書が必要ですか？
A：必修科目以外の科目ならば、WEB シラバスや掲示板で指示がない限り、教科書を購入せずに初回授業に参加しても構いません。教科書を購入して授業に参加しても、受講調整によってその授業が履修できなくなることがあります。

Ⅳ．全学教育科目の履修方法

１．全学教育科目履修基準について

全学教育科目の履修基準は、入学年度ごとに学生の所属学部の学科等（学士プログラム）において「卒業に必要な修得すべき単位数」の基準として定めており、その基準に従って履修しなければなりません（2019年度入学者は P.15 履修基準表参照）。

また、本学では高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）を導入しています（P.36）。経済学部、経営学部、都市科学部の学生は、履修基準表（P.15）とは別に、所属学部の指定する授業科目を 3－4 年次の高学年において履修することを義務づけられていますので、所属学部の履修案内（履修手引）を必ず確認してください。

２．全学教育科目の履修登録単位数の上限について

全学教育科目の履修登録は、春セメスター（第 1 ターム及び第 2 タームの合計）12 単位、秋セメスター（第 4 ターム及び第 5 タームの合計）12 単位が上限です。この上限を超えて履修登録はできません。ただし、グローバル教育科目（国際交流科目）は、12 単位に加えて 4 単位を上限に超過して履修登録ができます。なお、グローバル教育科目（国際交流科目）を 4 単位超過して履修登録するとシステム上エラー表示が発生しますので、その他履修登録単位数に問題がない場合は、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

この履修登録の上限には、夏季休業期間（第 3 ターム）及び春季休業期間（第 6 ターム）に開講する集中講義、別に掲示する集中・不定期開講科目、放送大学科目は含まれません。

Q：高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とはどのような仕組みですか？
A：高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは、学年（年齢）や人種を越えたダイバーシティの視野を広げるとともに、全学部を横断した科目開講により学問の多様性を幅広く修得する制度です。 このシステムでは、学生の所属学部が指定する授業科目を 3－4 年次において履修します。 なお、グローバル教育科目およびイノベーション教育科目は、高年次履修システムが適用される授業科目であり、3－4 年次において履修しますが、これら授業科目の履修定員に欠員があれば 1 年次学生も履修可能です。ただし、1－2 年次において履修した場合は、高度全学教育指定科目としては扱われません。また、履修希望者が履修定員を上回る場合は、3 年次以上、2 年次の順に優先履修とし、受講調整を行います。

2019年度入学者　全学教育科目履修基準表＜単位＞

<table>
<tr><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2" colspan="2">学科・課程・EP等</th><th colspan="2">基礎科目</th><th rowspan="2">外国語科目</th><th rowspan="2">健康スポーツ科目</th><th rowspan="2">グローバル教育科目</th><th rowspan="2">ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ教育科目</th><th rowspan="2">全学教育科目合計</th></tr>
<tr><th>人文社会系</th><th>自然科学系</th></tr>
<tr><td>教育学部</td><td colspan="2">学校教育課程</td><td>4以上</td><td>2以上</td><td>英語科目4以上
初修外国語科目選択(0以上)</td><td>2以上</td><td>選択
(0以上)</td><td>選択
(0以上)</td><td>16以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経済学部</td><td colspan="2">経済学科</td><td rowspan="2">4以上</td><td rowspan="2">4以上</td><td rowspan="2">英語科目8以上※1
初修外国語科目2以上</td><td rowspan="2">選択
(0以上
2以下)</td><td rowspan="2">選択
(0以上)</td><td rowspan="2">選択
(0以上)</td><td rowspan="2">34以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">経済学部・経営学部共同教育プログラム（GBEEP）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">経営学部</td><td colspan="2">経営学科</td><td rowspan="2">4以上</td><td rowspan="2">4以上</td><td rowspan="2">英語科目8以上※1
初修外国語科目2以上</td><td rowspan="3">選択
(0以上
2以下)</td><td rowspan="3">選択※2
(0以上)</td><td rowspan="3">選択
(0以上)</td><td rowspan="2">34以上</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">経営学科 社会人教育プログラム</td></tr>
<tr><td>選択
(0以上)</td><td>選択
(0以上)</td><td>英語科目4以上</td><td rowspan="2">20以上</td></tr>
<tr><td colspan="5">16単位は自由に選択が可能</td></tr>
<tr><td rowspan="7">理工学部</td><td rowspan="3">機械・材料・海洋系学科</td><td>機械工学EP</td><td rowspan="3">4以上</td><td>2以上</td><td rowspan="3">英語科目6以上
初修外国語科目2以上</td><td rowspan="2">選択
(0以上
2以下)</td><td rowspan="3">選択
(0以上)</td><td rowspan="3">選択
(0以上)</td><td>28以上</td></tr>
<tr><td>材料工学EP</td><td rowspan="2">4以上</td><td>26以上</td></tr>
<tr><td>海洋空間のシステムデザインEP</td><td>選択
(0以上
4以下)</td><td>30以上</td></tr>
<tr><td>化学・生命系学科</td><td>全EP</td><td>4以上</td><td>4以上</td><td>英語科目6以上
初修外国語科目2以上</td><td>選択
(0以上
2以下)</td><td>選択
(0以上)</td><td>選択
(0以上)</td><td>30以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">数物・電子情報系学科</td><td>数理科学EP</td><td rowspan="4">4以上</td><td>4以上</td><td rowspan="4">英語科目6以上
初修外国語科目2以上</td><td rowspan="4">選択
(0以上
2以下)</td><td>選択
(0以上)</td><td>選択
(0以上)</td><td>30以上</td></tr>
<tr><td>物理工学EP</td><td>2以上</td><td>選択※3
(0以上
4以下)</td><td>選択
(0以上)</td><td>24以上</td></tr>
<tr><td>電子情報システムEP</td><td>2以上</td><td>選択※3
(0以上
4以下)</td><td>選択
(0以上
2以下)</td><td>20以上</td></tr>
<tr><td>情報工学EP</td><td>4以上</td><td>選択
(0以上)</td><td>選択
(0以上)</td><td>30以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">都市科学部</td><td colspan="2">都市社会共生学科</td><td rowspan="4">4以上</td><td rowspan="4">4以上</td><td>英語科目6以上
初修外国語科目4以上
外国語科目合計12以上※4</td><td rowspan="4">選択
(0以上
2以下)</td><td rowspan="4">選択
(0以上)</td><td rowspan="4">選択
(0以上)</td><td rowspan="4">30以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築学科</td><td rowspan="3">英語科目6以上
初修外国語科目2以上
外国語科目合計10以上※4</td></tr>
<tr><td colspan="2">都市基盤学科</td></tr>
<tr><td colspan="2">環境リスク共生学科</td></tr>
</table>

※1 経済学部および経営学部の英語科目8単位以上には、経済学部および経営学部がそれぞれ開講する英語演習科目の単位数が含まれます。詳細は学部の履修案内を確認してください。

※2 経営学部では、グローバル教育科目「海外研修」は増加単位として扱われ、卒業に必要な単位として算入することはできません。

※3 理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP及び電子情報システムEPのグローバル教育科目4単位以下の内訳は、「世界事情科目」または「海外研修」から2単位以下、「国際交流科目」から2単位以下となります。

※4 都市科学部外国語科目のうち2単位は、英語または初修外国語科目から選択して履修してください。

★　高度全学教育指定科目の履修については、P.36を確認してください。

★　学部向け大学院全学教育科目の取扱いは、P.7を確認してください。

３．全学教育科目の履修について

（１）開講時限について

本学は、従来の教養教育・専門教育という枠組みを廃止し、「全学教育」「学部教育」とする学科等（学士プログラム）単位でカリキュラムを編成しています。全学教育科目は、学部教育科目と並行して、学部4年間を通じた履修（いわゆるパラレル型履修）であり、全学部を横断した授業開講により学問の多様性を幅広く修得するとともに、学年（年齢）や人種を越えたダイバーシティの視野を広げる高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）を採用しています。

基礎科目と外国語科目の主な開講時間帯（グレー色）を設定しています。

時限	月	火	水	木	金
１限		初修外国語実習			初修外国語実習
２限	基礎／英語実習	初修外国語実習		英語演習	初修外国語実習
３限	基礎／英語実習	基礎／英語実習・演習	英語演習	基礎／英語実習	
４限	基礎／英語実習	基礎／英語実習	英語演習	基礎／英語実習	
５限					
６限	すべての学部生が履修可能 （経営学部社会人教育プログラム・夜間主コース学生が優先履修）				
７限					

※基礎科目・外国語科目は、上表の開講時間帯（グレー色）を中心に主に開設していますが、それ以外の時限にも開設しており、全学教育科目時間割表（別冊）を確認してください。

（２）履修方法の一般的注意について

① 履修登録していない授業科目は履修できません。

② 同一時間帯に２つ以上の授業科目を履修登録できません。

③ 学科等（学士プログラム）においてクラス指定している授業科目は、原則として指定されたクラス以外の学生は履修できません。

④ 授業科目によっては、１つの授業科目に２名以上の教員が分担（オムニバス授業）することがあります。このような場合は全ての教員の授業を履修しなければ単位は修得できません。

⑤ 同じ名称の授業科目が複数開講されている科目（例えば「日本国憲法」等）は、異なる教員、異なる学期、曜日、時限であっても１つの授業科目として取り扱います。

同じ名称の授業科目が複数開講されている場合は、クラス指定や別の指示がなければ、１つの授業科目のみを選択履修してください。

⑥ 休講、教室変更、試験通知等は、その都度掲示板によって案内しますので、常に確認してください。

⑦ その他不明な点は、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

（3）科目ナンバリングについて

本学は、従来の教養教育・専門教育という枠組みを廃止し、「全学教育」「学部教育」とする“学士の学位を授与する教育課程プログラム”（学士プログラム）単位でカリキュラムを編成しています。

本学の全学教育システムは、学部教育科目と並行して、学部 4 年間を通じた履修（いわゆるパラレル型履修）とする学位プログラムごとのカリキュラムポリシーに基づく順次性のある体系的な教育課程を編成するため、科目ナンバリングを導入しています。分類コードは次の表（P.18）のとおりです。

YNU ナンバリングコード　　ＡＢ．１ ２ ３ ４

開講部局．　レベル　分類１　分類２　分類３

レベルコード

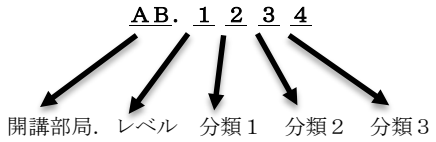
レベルコード	学生が身に付ける能力
1000 番台 初年次・導入科目	◎学部生として、また社会の一員として基本的な知識と教養、英語力を身に付ける（2000・3000 番台を除く）。 ◎学部教育に必要な知識を身に付ける。
2000 番台 基礎・基盤科目	◎学部教育の専門知識を基礎・基盤とした発想力、創造力、英語力を身に付ける。 ◎英語以外の外国語力を身につける。
3000 番台 展開・実践科目	◎学部教育で展開または実践する知識と幅広い教養、語学力、表現力を身に付ける。 ◎専門分野及び関連する他の分野における知識を身に付ける。
4000 番台 発展科目	＜修士課程、博士課程前期、専門職大学院課程＞ 大学院全学教育科目 ◎学士レベルの知識・教養から、修士又は専門職レベルに発展させ、大学院生として必要な知識とプロフェッショナル意識を身に付ける。 ◎文理融合教育やグローバル・ローカル教育を実践し、修士レベルの関連分野の基礎的素養を身に付ける。
5000 番台 自立科目	＜修士課程、博士課程前期、専門職大学院課程＞
6000 番台 先進科目	＜博士課程後期＞
9000 番台 その他科目	◎海外留学や語学検定など順次性や体系的な科目履修が必要ない科目、レベル分けが困難な科目、放送大学科目等

分類コード（全学教育科目）

分類１		分類２		分類３	
コード	科目区分	コード	学問分野・領域	コード	使用言語
1	基礎科目（人文社会系）	1	哲学・倫理学	1	日本語
		2	芸術学	2	英語
		3	文学・言語学	3	日英併用
		4	史学・地理学		
		5	文化人類学	4	その他
		6	法学・政治学		
		7	経済学・経営学		
		8	教育学・社会学		
		9	その他の分野		
2	基礎科目（自然科学系）	1	数学		
		2	物理学		
		3	化学		
		4	生物学		
		5	工学		
		6	情報学		
		7	環境学		
		8	健康・生活科学		
		9	その他の分野		
3	英語科目	1	英語実習・TOEFL430		
		2	TOEFL450		
		3	TOEFL500		
		4	TOEFL520		
		5	TOEFL550		
4	初修外国語科目	1	ドイツ語		
		2	フランス語		
		3	イスパニア語		
		4	ロシア語		
		5	中国語		
		7	ギリシア語		
		8	ラテン語		

分類１		分類２		分類３	
コード	科目区分	コード	学問分野・領域	コード	使用言語
5	日本語科目	1	レベル 100	1	日本語
		2	レベル 200	2	英語
		3	レベル 300	3	日英併用
		4	レベル 400		
		5	レベル 500・中級	4	その他
		6	レベル 600・上級		
		7	日本語演習		
6	健康スポーツ	1	演習 A（教育）		
		2	演習 B（共通）		
7	グローバル教育科目	1	世界事情科目		
		2	国際交流科目		
		3	海外研修		
8	イノベーション教育科目	1	入門的基幹知（領域）		
		2	技術革新思考（領域）		
		3	社会実装戦略（領域）		
		4	キャリア形成実践知（領域）		
9	放送大学科目	1	基盤科目		
		2	導入科目		
		3	専門科目		
		4	総合科目		
		5	英語		
		6	初修外国語		

YNU ナンバリングコード



開講部局コード（全学教育科目）

記号	開講部局
GS	教育学部
GE	経済学部
GB	経営学部
GR	理工学部
GU	都市科学部
GL	国際社会科学府
GZ	その他

記号	開講部局	
GQ	国際戦略推進機構	企画推進部門
GN		英語教育部
GF		初修外国語教育部
GJ		日本語教育部
GY		YCCS プログラム
GI	情報基盤センター	
GK	機器分析評価センター	

記号	開講部局
GA	高大接続・全学教育推進センター
GD	男女共同参画推進センター
GP	リスク共生社会創造センター
GM	未来情報通信医療社会基盤センター
GC	地域実践教育研究センター
GG	成長戦略研究センター
GH	保健管理センター

４．基礎科目の履修について

基礎科目は、人文社会系と自然科学系の各学問分野における基本的な知識と教養、学部教育に必要な知識を身につける科目です。原則として、科目ナンバリングのレベルコードは 1000 番台（初年次・導入科目）としています。

学　部	履　修　上　の　注　意
教育学部	・日本国憲法（人文社会系科目）は教育職員免許状取得により必修科目
経済学部	・社会科学概論Ａ・Ｂ（人文社会系科目）は社会科学に関する広い視野を与えるため履修奨励科目（必修科目ではない） ・微分積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ（自然科学系科目）は経済学の学修に非常に重要であるため履修奨励科目（必修科目ではない）
経営学部	・統計学Ⅰ－Ａ（自然科学系科目）は必修科目 ・統計学Ⅱ－Ａ、微分積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ（自然科学系科目）は経営学の学修に非常に重要であるため履修奨励科目（必修科目ではない）
理工学部	・理工学部履修案内及び本冊子に基づき選択履修 ＜機械工学 EP＞ ・機械工学と社会とのかかわり合い（自然科学系科目）は必修科目 ＜材料工学 EP＞ ・材料学入門（自然科学系科目）は必修科目 ＜化学・生命系学科＞ ・物質工学と社会（自然科学系科目）、安全・環境と社会（自然科学系科目）、エネルギー工学序論（自然科学系科目）は準必修科目（履修が義務付けられた科目） ＜数理科学 EP＞ ・数理科学概論（自然科学系科目）は必修科目 ＜物理工学 EP＞ ・物理工学概論（自然科学系科目）は必修科目 ＜電子情報システム EP＞ ・電子情報システム概論（自然科学系科目）は必修科目 <情報工学 EP> ・情報工学概論（自然科学系科目）は必修科目
都市科学部	・都市科学部履修案内及び本冊子に基づき選択履修

（1）ターム科目の履修方法

基礎科目は、原則としてセメスター科目（2 単位）として開講されますが、一部の基礎科目（自然科学系）はターム科目（1 単位）として開講されます。

全学教育科目のターム科目は、春学期「第 1 タームと第 2 タームの連続開講（セット科目）」、秋学期「第 4 タームと第 5 タームの連続開講（セット科目）」を奨励していますが単位認定は別々に行われます。

例えば、生物の世界Ⅰ（第 1 ターム 1 単位）、生物の世界Ⅱ（第 2 ターム 1 単位）の 2 科目をセットで履修（2 ターム連続履修）した場合、ターム科目は各々が独立した授業科目なので単位認定は別々に行われます。

なお、定期試験等の結果により、一方の授業科目が「不可」になる場合があります。再履修する場合は、次年度に当該授業科目のみ再履修してください。

また、第 2 及び第 5 ターム科目の履修登録キャンセル期間は、セメスター科目と異なっていますので必ず確認してください。

５．英語科目の履修について

本学では、全学教育／教養教育の目標である「国際感覚を養い、異文化への理解を深め、十分なコミュニケーション力を高める」ことを実現するため、英語教育は特に重要と位置付けています。すべての英語科目は、TOEFL レベル別指定クラス編成とし、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が指定する英語科目を履修します。

卒業に必要となる英語科目の履修単位数は、学士プログラムごとに指定しますが、英語科目によっては、履修するために必要な TOEFL スコアが指定されています。（このページの（２）表を参照してください。）

このため、英語科目を 6 単位履修するには TOEFL-ITP450 点以上のスコアが必要です。同じように英語科目を 8 単位履修するためには、TOEFL-ITP500 点以上のスコアが必要です。これらは履修するための条件なので、英語演習科目（「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」）を 2 年次に履修するためには、1 年次末の英語統一テストで必要なスコアを獲得しておくことが必要です。また、TOEFL-ITP（学内・不定期実施）等でより高いスコアを獲得することで、「英語演習 2a」「英語演習 2b」といった、より高度の英語演習科目を履修することができます。

（１）英語科目の編成（セメスター科目）

英語科目は、「英語実習科目」及び「英語演習科目」に区分して編成しています。

英語実習科目は、一般的な英語の運用能力を向上させる授業内容とし、90 分授業を 15 回（定期試験を除く）履修することにより 1 単位修得する科目であり、授業時間内での実践的な学修と相応な自宅学習が求められます。

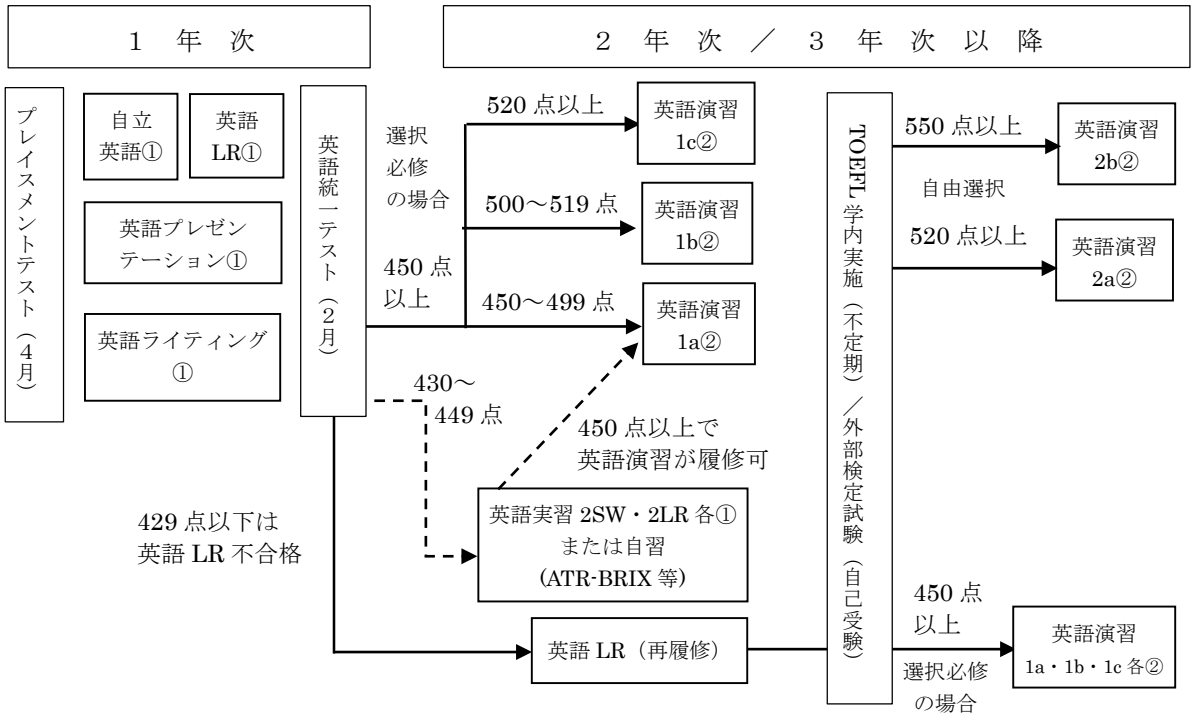
英語演習科目は、専門領域の研究や卒業後のキャリアのために必要な英語の運用能力を向上させる授業内容とし、90 分授業を 15 回（定期試験を除く）履修することにより 2 単位修得する科目であり、授業時間内での演習に加え、授業時間外における多くの学修課題が英語実習科目以上に課されます。

（２）英語科目の履修の流れ

<table>
<tr><th rowspan="2">授業科目名
（必要なスコア）</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">ナンバリング</th><th colspan="5">○必修科目・◇選択科目</th><th rowspan="2">履修年次
（科目区分）</th></tr>
<tr><th>教育</th><th>経済</th><th>経営</th><th>理工</th><th>都市</th></tr>
<tr><td>英語プレゼンテーション</td><td>1</td><td rowspan="4">1000</td><td rowspan="4">○
必修</td><td rowspan="4">○
必修</td><td rowspan="4">○
必修※</td><td rowspan="4">○
必修</td><td rowspan="4">○
必修</td><td rowspan="4">1 年次から
（実習科目）</td></tr>
<tr><td>英語ライティング</td><td>1</td></tr>
<tr><td>自立英語</td><td>1</td></tr>
<tr><td>英語 LR</td><td>1</td></tr>
<tr><td>英語演習 1a（ITP450 点）</td><td>2</td><td rowspan="3">2000</td><td rowspan="6">◇
自由
選択</td><td rowspan="6">◇
自由
選択</td><td rowspan="3">◇
自由選択
または 1
科目以上
選択必修※</td><td rowspan="3">◇
1 科目
以上
選択
必修</td><td rowspan="3">◇
1 科目
以上
選択
必修</td><td rowspan="3">2 年次から
（演習科目）</td></tr>
<tr><td>英語演習 1b（ITP500 点）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語演習 1c（ITP520 点）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語演習 2a（ITP520 点）</td><td>2</td><td rowspan="2">3000</td><td rowspan="2">◇
自由
選択</td><td rowspan="2">◇
自由
選択</td><td rowspan="2">◇
自由
選択</td><td rowspan="2">3 年次から
（演習科目）</td></tr>
<tr><td>英語演習 2b（ITP550 点）</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語実習 2SW</td><td>1</td><td rowspan="2">1000</td><td colspan="5">◇ 自由選択
英語演習 1a(ITP450 点)を履修できない学生向け補習科目
(卒業に必要な単位には算入されない)</td><td rowspan="2">2 年次から
（実習科目）</td></tr>
<tr><td>英語実習 2LR</td><td>1</td></tr>
</table>

※詳細は下記（6）および経営学部履修案内を確認してください。なお、社会人教育プログラムを除きます。

【英語実習科目から英語演習科目を履修する場合のフロー】　※○数字は単位数を示す。



※経済学部および経営学部所属の学生は、上記フローと異なる履修になりますので下記（6）を確認してください。
※英語実習科目の中で不合格または未履修の科目があっても、TOEFL-ITP のスコアの条件を満たしていれば、英語演習科目を履修することはできます。

（3）1年次英語実習科目の履修方法

1年次英語科目は、英語実習 4 科目「自立英語、英語 LR（Listening／Reading）、英語プレゼンテーション、英語ライティング（各 1 単位、合計 4 単位）」が必修科目です。入学時（2019 年 4 月 3 日実施）の TOEFL-ITP プレイスメントテストのスコアに基づき、下表による学生の所属学部の学科等（学士プログラム）を横断したレベル別指定クラスで編成されます。

1年次英語実習科目の指定クラス開講曜日・時限

時限	月	火	水	木
2限	＜IE（春）・LR（秋）＞ 経済 経営			
3限	＜IE（春）・LR（秋）＞ 理工－機械･材料･海洋系 数物･電子情報系 都市－建築、都市基盤	＜P・W（春 or 秋）＞ 経営 都市－建築、都市基盤		＜P・W（春 or 秋）＞ 教育 理工－機械･材料･海洋系
4限	＜IE（春）・LR（秋）＞ 教育 理工－化学･生命系 都市－都市社会、 環境リスク	＜P・W（春 or 秋）＞ 経済 理工－化学･生命系		＜P・W（春 or 秋）＞ 理工－数物･電子情報系 都市－都市社会、 環境リスク

※IE＝自立英語、LR＝英語 LR、P＝英語プレゼンテーション、W＝英語ライティング

自立英語・英語 LR は、月曜日 2 限～4 限のうち、指定クラスの時限において履修し、自立英語は春セメスター（春学期）に履修、英語 LR は秋セメスター（秋学期）に履修します。英語 LR の単位修得には、秋セメスター末（2020 年 2 月 13 日実施）に英語統一テスト（TOEFL-ITP）を受講し、430 点以上のスコア取得が義務付けられます。

英語プレゼンテーション、英語ライティングは、火曜日または木曜日の 3 限または 4 限のうち、春セメスター（春学期）及び秋セメスター（秋学期）のそれぞれに当該指定クラスの時限において履修します。

ただし、経営学部社会人教育プログラムは、放送大学科目の代替措置（4 単位）がありますので、経営学務係に相談してください。

（4）英語統一テスト（TOEFL-ITP）の受講方法

英語統一テストの受験資格は、秋セメスター（秋学期）に開講される「英語 LR」を履修登録したすべての 1 年次生に与えられます。TOEFL-ITP とは、TOEFL PBT（Paper-Based Test,677 点満点）を使用した団体向けテストのことで、この TOEFL-ITP スコアは公式の TOEFL スコアではありません。

「英語 LR」の単位修得には、英語統一テストにおいて 430 点以上のスコアが義務付けられています。詳細は英語 LR 授業において説明します。

そのスコアは公式の PBT スコアと同様と考えられており、全世界で実施されている TOEFL-iBT、TOEIC、IELTS 等との得点換算表を利用することにより、ある程度正確に自分の英語力を客観的に把握でき、今後の外部検定試験を挑戦するステップとして役立てることができます。

（5）1 年次英語実習科目の再履修方法

1 年次英語実習科目の必修 4 科目「自立英語、英語 LR（Listening／Reading）、英語プレゼンテーション、英語ライティング（各 1 単位、合計 4 単位）」を履修しますが、1 年次の全ての英語科目が指定クラスのため、春学期の履修科目を単位修得できなかった場合、その秋学期の同じ名称の授業科目ではなく、2 年次に再履修することになります。

再履修に関する不明な点は、英語教育部（高大接続・全学教育推進センターS5-2／201 室）に遠慮なく相談してください。

（6）2 年次以降の英語演習科目の履修方法

英語演習科目は、2 年次以降の履修科目です。1 年次秋学期末までに入学時のプレイスメントテスト、英語統一テストや TOEFL-ITP（学内・不定期実施）等において TOEFL-ITP450 点以上のスコア取得が履修条件になります。さらに英語演習科目を 2 科目（英語科目全体で 8 単位）履修する場合は、TOEFL-ITP500 点以上のスコア取得が履修条件になります。

したがって、英語統一テストにおいて TOEFL-ITP430～449 点の学生が、英語演習科目を履修するためには、卒業に必要な単位に算入できない補習科目である「英語実習 2SW、英語実習 2LR（各 1 単位）」を履修するか、YNU 英語自習システム「ATR CALL BRIX」等での独学により TOEFL-ITP450 点以上のスコアを獲得できるよう努力する必要があります。そして、TOEFL-ITP（学内・不定期実施）または学外での外部検定試験の受験によって TOEFL-ITP450 点以上のスコアを獲得した場合は、英語教育部でスコアが承認されることにより、英語演習科目の履修ができるようになります。学外での外部検定試験で

獲得したスコアについては、学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に提出してください。

英語演習 1 は 2 年次以降の選択必修科目（教育学部・経済学部は自由選択科目）で、1 年次の英語実習科目の学習に基づき、各自の英語のレベルと興味に応じてクラスを選択して履修します。2 単位科目として、相応の自宅学習（週当たり 4 時間以上）を自主的に行うことが求められます。授業は大きく、英語を用いて内容を学習するクラスと、リスニング／リーディング／スピーキング／ライティング等のスキル養成のクラスとに分かれます。英語演習 2 は 3 年次以降の自由選択科目で、卒業研究、大学院進学、キャリア形成、海外研修帰国後の英語力維持・向上、等に寄与する目的で提供されます。英語演習 2 では英語演習 1 以上に、自身の専門分野を自ら英語で掘り下げる自律的な学習が求められます。

英語演習科目は獲得したスコアに応じてレベルが指定されます。そのため、履修登録を行う時点で所有しているスコアに合った科目を履修することになります。英語演習 1 については、上のレベルの科目だけでなく、下のレベルの科目も履修することはできません。

なお、英語実習科目の中で不合格または未履修の科目があっても、TOEFL-ITP のスコアの条件を満たしていれば、英語演習科目を履修することができます。

再履修については、「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」の中であれば、別科目でも再履修として履修することができます。また、「英語演習 2a」「英語演習 2b」の中であれば、別科目でも再履修として履修することができます。

TOEFL-ITP 以外の外部検定試験の場合は、次のスコア換算表を基準にしてください。

TOEFL-ITP	TOEFL-iBT	TOEIC	IELTS	英検
430	－	410	－	準 2 級
450	45	445	4.5	2 級
500	61	590	5	2 級 A
520	68	645	5.5	－
550	80	730	6	準 1 級
600	100	880	7	1 級

※上表以外の外部検定試験の場合は英語教育部に問い合わせてください。

2 年次英語演習科目の指定クラス開講曜日・時限

時限	月	火	水	木
2限		【参考】 ＜経済英語演習＞		＜英語演習 1＞ 理工
3限		＜英語演習 1＞ 理工	＜英語演習 1＞ 経営、理工（春）、都市 【参考】 ＜経営英語演習＞	
4限		【参考】 ＜経済英語演習＞	＜英語演習 1＞ 経営、都市 【参考】 ＜経営英語演習＞	

【教育学部の履修方法】

英語演習科目は必修ではありませんが、教育学部の卒業に必要な全学教育科目の単位数に算入されます。履修希望する場合は、上記の履修方法に従ってください。

【経済学部の履修方法】

経済学部の卒業に必要な英語科目の 8 単位については、英語教育部開講の「英語プレゼンテーション」「英語ライティング」「英語 LR」「自立英語」に加え、経済学部教育科目の英語演習科目「English for Academic Purpose(EAP)」「English for Economics and Business(EEB)」「Advanced EAP A」「Advanced EAP B」の 4 科目のうち指定されたクラスの 2 科目 4 単位となります。

経済学部生の卒業に必要な英語 8 単位の履修方法は、経済学部履修案内で必ず確認してください。

【経営学部の履修方法（社会人教育プログラムを除く）】

経営学部の履修基準のうち、英語科目 8 単位以上には、英語実習科目 4 科目 4 単位に加え、経営学部教育科目の英語演習科目「経営英語演習 A」「経営英語演習 B」が含まれ、次のように英語演習 2 科目（4 単位）を履修します。英語演習科目の履修登録は半期 2 単位までです。

【例 1】春学期に「経営英語演習 A」を履修する学生は、「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」のいずれかを秋学期に履修する。

【例 2】秋学期に「経営英語演習 B」を履修する学生は、「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」のいずれかを春学期に履修する。

【例 3】春学期に「経営英語演習 A」を履修する学生は、秋学期に「経営英語演習 B」を履修する。

この経営学部が開講する英語演習科目の履修方法については、経営学部履修案内で必ず確認してください。

・TOEFL-ITP450 点未満の学生

「経営英語演習 A」及び「経営英語演習 B」

※「経営英語演習 A」と「経営英語演習 B」の両方を履修する場合は、それぞれ別の教員を選択してください。

・TOEFL-ITP450 点以上 500 点未満の学生

「英語演習 1a」及び「経営英語演習 A・B」のいずれか 1 科目

・TOEFL-ITP500 点以上 520 点未満の学生

「英語演習 1b」及び「経営英語演習 A・B」のいずれか 1 科目

・TOEFL-ITP520 点以上の学生

「英語演習 1c」及び「経営英語演習 A・B」のいずれか 1 科目

【理工学部の履修方法】

理工学部の卒業に必要な英語科目の 6 単位については、英語教育部開講の英語実習科目である「英語プレゼンテーション」「英語ライティング」「英語 LR」「自立英語」（各 1 単位）を 1 年次に指定クラスの曜日･時限で履修し、さらに以下のように「英語演習 1a」、「英語演習 1b」または「英語演習 1c」（各 2 単位）を 2 年次に履修します。なお、これらの英語演習科目は 2 年次の年度では 2 単位を超えて履修登録でき

ません。2 年次に履修する英語演習科目の開設曜日・時間帯は、各教育プログラム（EP）で指定されています。また、TOEFL-ITP のレベルに応じて受講するクラスを希望できますが、希望者が多い場合は抽選となることがあります。抽選は学期毎に行いますので、受講を許可されたクラスを履修登録してください。さらに、2 年次の春学期に履修登録した学生は、その合否にかかわらず、2 年次の秋学期の抽選に参加できません。春学期、秋学期ともに抽選に漏れた場合は、英語教育部に申し出てください。

3 年次以降にこれらの英語演習を再履修する場合には、履修する英語演習科目の開設曜日・時間帯の制限はありません。

理工学部における 2 年次英語演習科目の指定クラス開講曜日・時限

<table>
<tr><td></td><td>火曜日・３限</td><td>水曜日・３限</td><td>木曜日・２限</td></tr>
<tr><td>春学期</td><td>機械工学 EP<Ame1>
物理工学 EP<Fp1>
電子情報システム EP<Fe1></td><td>材料工学 EP</td><td>化学･化学応用 EP<Cb1>
バイオ EP
海洋空間のシステムデザイン EP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">秋学期</td><td>数理科学 EP
物理工学 EP<Fp2>
電子情報システム EP<Fe2>
情報工学 EP</td><td rowspan="2"></td><td>化学･化学応用 EP<Cb2>
機械工学 EP<Ame2></td></tr>
<tr><td>春学期に受講資格がなく、秋学期までに受講資格を獲得した以下の EP 所属生
材料工学 EP
物理工学 EP<Fp1>
電子情報システム EP<Fe1></td><td>春学期に受講資格がなく、秋学期までに受講資格を獲得した以下の EP 所属生
機械工学 EP<Ame1>
海洋空間のシステムデザイン EP
バイオ EP
化学･化学応用 EP<Cb1></td></tr>
</table>

・TOEFL-ITP450 点以上 500 点未満の学生

「英語演習 1a」（2 単位）を春学期、または、秋学期に受講できます。

この科目は学年を問わず単位修得できるのは、1 クラス 2 単位までに限られます。

・TOEFL-ITP500 点以上 520 点未満の学生

「英語演習 1b」（2 単位）を春学期、または、秋学期に受講できます。

2 年次には 2 単位を超えて履修できません。

・TOEFL-ITP520 点以上の学生

「英語演習 1c」（2 単位）を春学期、または、秋学期に受講できます。

2 年次には 2 単位を超えて履修できません。

・英語科目を 6 単位より多く（英語演習を 2 単位より多く）履修する場合

TOEFL-ITP500 点以上であれば、既に修得した英語演習 1b とは別クラスの英語演習 1b を 3 年次以降で履修できます。

TOEFL-ITP520 点以上であれば、既に修得した英語演習 1c とは別クラスの英語演習 1c を、または、英語演習 2a を 3 年次以降で履修できます。このうち、TOEFL-ITP550 点以上であれば、英語演習 2b の履修が 3 年次以降で可能になります。

【注 1】TOEFL-ITP430 点未満の学生

英語 LR の単位修得ができていないので、英語演習科目を受講できません。まず、英語 LR の単位修得が

必要です。

【注 2】TOEFL-ITP450 点未満の学生

TOEFL-ITP450 点未満の学生は、英語演習科目を受講することはできません。このうち、TOEFL-ITP430 点以上 450 点未満の学生は、卒業に必要な単位に算入できない補習科目である「英語実習 2SW」「英語実習 2LR」（各 1 単位）を履修するか、YNU 英語自習システム「ATR CALL BRIX」等での独学により TOEFL-ITP450 点以上のスコアを獲得する事で、スコアに応じて「英語演習 1a」、「英語演習 1b」または「英語演習 1c」を受講することが可能になります。（春学期にスコア条件を満足できれば、秋学期に英語演習科目の受講が可能になります。）

なお、海洋空間のシステムデザイン EP の履修基準のうち、グローバル教育科目（国際交流科目）を履修し単位を修得した場合、2 単位を上限として英語演習科目の単位として読み替えることができます。履修方法については、理工学部教務係に相談してください。

【都市科学部の履修方法】

都市科学部の履修基準では、英語科目 6 単位以上の履修が必修です。さらに外国語科目の履修基準を満たすために英語科目を 8 単位履修する場合があります。

英語科目 6 単位または 8 単位を履修するためには、英語実習科目 4 科目（4 単位）に加え、次のとおり 2 年次以降に英語演習科目を 1 科目（2 単位）または 2 科目（4 単位）履修する必要があります。

<u>英語演習科目を 1 科目（2 単位）履修する場合</u>

・TOEFL-ITP450 点以上 500 点未満の学生

「英語演習 1a」を 2 年次春学期、または、2 年次秋学期に履修します。

・TOEFL-ITP500 点以上 520 点未満の学生

「英語演習 1b」を 2 年次春学期、または、2 年次秋学期に履修します。

・TOEFL-ITP520 点以上の学生

「英語演習 1c」を 2 年次春学期、または、2 年次秋学期に履修します。

<u>英語演習科目を 2 科目（4 単位）履修する場合</u>

・TOEFL-ITP450 点以上 500 点未満の学生

「英語演習 1a」を 2 年次春学期に履修できますが、2 科目を履修するためには、TOEFL-ITP を再度受験し、500 点以上のスコアを取得する必要があります。英語演習 1a を 2 つ履修することはできません。500 点以上 520 点未満のスコアを取得した場合は「英語演習 1b」、520 点以上のスコアを取得した場合は「英語演習 1c」を、スコアを取得した次の学期に履修します。

・TOEFL-ITP500 点以上 520 点未満の学生

「英語演習 1b」を 2 年次春学期、2 年次秋学期ともに履修します。

・TOEFL-ITP520 点以上の学生

「英語演習 1c」を 2 年次春学期、2 年次秋学期ともに履修します。

【留意事項】都市科学部外国語科目の履修方法について

都市科学部の外国語科目は、P.15 の履修基準表に基づき、以下の表のとおり、英語科目及び初修外国語

科目を合わせて 10 単位または 12 単位以上を履修する必要があります。

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 （いずれかを選択）	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位	10 単位
			初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	

外国語科目の選択単位数（2 単位）は、英語科目と初修外国語科目のいずれかから履修するほか、下記の科目から 2 単位までを読み替えることができます。読替を行う場合は、都市科学部学務係まで申し出てください。

都市社会共生学科	・学科が指定する全学教育科目のグローバル教育科目（国際交流科目） ・学部教育科目の英語関連科目
建築学科	・学科が指定する全学教育科目のグローバル教育科目（国際交流科目）
都市基盤学科	・学科が指定する全学教育科目のグローバル教育科目（国際交流科目）
環境リスク共生学科	・学科が指定する全学教育科目のグローバル教育科目（国際交流科目）

（7）留学支援英語科目及び検定英語科目

これら英語科目のほか、第 3 ターム科目（夏季休業期間）として留学支援英語科目「英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習（2 単位）」「TOEFL-iBT スピーキング対策演習（2 単位）」が開講されます。履修するためには、TOEFL-ITP500 点以上のスコアが必要です。これらの科目は英語演習科目としての取扱いとなりますが、学部によっては選択必修の英語演習科目があるため、履修する場合は以下の表を確認してください。

教育学部	「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。
経済学部	「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」と同様に全学教育科目の卒業に必要な単位にすることができます。
経営学部	経営学部教育科目の「経営英語演習 A」「経営英語演習 B」、または「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。経営学部履修案内で確認してください。
理工学部	「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。
都市科学部	「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。

また、外部検定試験（TOEFL、TOEIC、IELTS 等）において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定英語科目があります。

検定英語科目の単位は、外国語科目の卒業に必要な単位には算入されません。ただし、全学教育科目の卒業に必要な単位数の合計には算入されます。また、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1 科目につき

単位認定できるのは1回のみとなります。

経済学部および経営学部所属の学生は、学部独自の制度がありますので、所属学部の学務担当係に相談してください。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定英語 A	1	合格	TOEFL-ITP 550 点以上（英語演習 2b レベル）
検定英語 B	1		TOEFL-ITP 600 点以上（大学院留学レベル）

※ TOEFL-ITP 以外の外部検定試験スコアは前述したスコア換算表により取り扱います。
なお、TOEFL-ITP 600 点以上取得した場合は、検定英語 A および検定英語 B の 2 単位認定となります。

6．初修外国語科目の履修について

本学では、全学教育／教養教育の目標である「国際感覚を養い、異文化への理解を深め、十分なコミュニケーション力を高める」ことを実現し、世界の多元性や多様性の認識を深め、共生への理解を育むため、異文化理解教育としての初修外国語教育は重要と位置付けています。初修外国語は、ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、中国語、ギリシア語、ラテン語の 7 言語です。

なお、2017 年度以前入学生は朝鮮語も履修することができます。

卒業に必要となる初修外国語科目の履修単位は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）ごとに指定されます。

（1）初修外国語科目の編成（セメスター科目）

初修外国語科目は、「実習科目」及び「演習科目」に区分して編成されています。

実習科目は、基礎的な知識を修得させる初級レベルの授業内容とし、90 分授業を 15 回（定期試験を除く）履修することにより 1 単位修得する科目であり、主に授業時間内での実践的な学修が中心となります。

演習科目は、専門領域の研究や卒業後のキャリアのため、より高度の知識・教養を修得させる中級レベルの授業内容とし、90 分授業を 15 回（定期試験を除く）履修することにより 2 単位修得する科目であり、授業時間内での演習に加え、授業時間外における多くの学修課題が実習科目以上に課されます。

（2）初修外国語科目の選択方法

<table>
<tr><th>授業科目名
（セメスター科目）</th><th>単位</th><th>ナンバリング</th><th>教育</th><th>経済</th><th>経営</th><th>理工</th><th colspan="2">都市</th><th>履修年次
（科目区分）</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>都市社会共生</td><td>他の学科</td><td></td></tr>
<tr><td>ドイツ語実習</td><td>1</td><td rowspan="8">2000</td><td rowspan="8">自由選択</td><td rowspan="6">1言語
2単位
以上
選択
必修</td><td rowspan="6">1言語
2単位
以上
選択
必修</td><td rowspan="8">1言語
2単位
以上
選択
必修</td><td rowspan="8">1言語
4単位
以上
選択
必修</td><td rowspan="8">1言語
2単位
以上
選択
必修</td><td rowspan="6">理工学部
都市科学部
1年次

経済学部
経営学部
2年次

教育学部
2年次から
（実習科目）</td></tr>
<tr><td>フランス語実習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>イスパニア語実習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ロシア実習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>中国語実習</td><td>1</td></tr>
<tr><td>朝鮮語実習
（2017年度以前入学生）</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ギリシア語</td><td>1</td><td rowspan="2">自由
選択
※</td><td rowspan="2">自由
選択
※</td><td rowspan="2">2年次から
（実習科目）</td></tr>
<tr><td>ラテン語</td><td>1</td></tr>
<tr><td>演習科目</td><td>2</td><td>3000</td><td colspan="7">自由選択
各言語の実習科目4単位以上履修しなければ演習科目は原則として履修できません。なお、ギリシア語、ラテン語は演習科目を開講していません。</td><td>2～3年次から
（演習科目）</td></tr>
</table>

※経済学部では、ギリシア語、ラテン語は卒業に必要な単位には算入されません。
経営学部では、ギリシア語、ラテン語は初修外国語の卒業に必要な単位には算入されませんが、全学教育科目の卒業に必要な単位数の合計には算入されます。

【初修外国語科目を履修する場合のフロー】　※○数字は単位数を示す。

○一般的な科目履修の場合（1言語2科目2単位の履修ケース）

	1　年　次		2　年　次	
理工学部・都市科学部	○○語実習 1①	○○語実習 2①		
経済学部・経営学部	1年次中に初修外国語科目の履修希望調査（第1希望から第3希望）により事前調整を行い、履修言語を決定		○○語実習 1①	○○語実習 2①

○都市科学部で1年次に4単位履修する場合、または留学や2年次以降に演習科目履修する場合

1　年　次			2　年　次　以　降
○○語実習 1①	○○語実習 2①	→	○○語演習②
○○語実習 1①	○○語実習 2①	1年次に実習4単位を履修してから演習科目に進む	↓ ○○語発展演習②

※教育学部の所属学生で初修外国語科目を履修希望する場合は、教育学部の履修手引きを確認してください。
※実習1（春セメスター開講科目）を履修して単位修得できない場合は、実習2（秋セメスター開講科目）を履修することはできません。
※一定の条件を満たす場合は「スピード履修」「スキップ履修」制度があります。

（3）初修外国語実習科目の履修方法

初修外国語実習科目は、言語ごとに「〇〇語実習 1」「〇〇語実習 2」の 2 科目を開設しています。原則として 2 年次から履修を開始しますが、理工学部と都市科学部は 1 年次から履修を開始します。（ギリシア語とラテン語を除く。）

実習科目は、火曜日および金曜日の 1 限・2 限を中心に開講し、履修年次と曜日・時限を学生の所属学部の学科・EP 等（学士プログラム）ごとに次の表で指定しています。

当該指定された曜日・時限に開講する初修外国語の中から、学生自身の学問的な関心等により 1 言語を選択し、春学期に「実習 1」、秋学期に「実習 2」を履修します。「実習」は、「1」と「2」の二つを合わせて 1 年間で完結するような授業内容ですので、原則として、春学期・秋学期を通じて、同一曜日・時限、同一教員の授業を履修します。ただし、「実習 1」の単位を修得できなかった場合は、その秋学期の「実習 2」を履修することはできません。

なお、同一の初修外国語について、「実習 1」＋「実習 2」の【1 セット 2 単位】で履修しなければ、卒業に必要な外国語の単位に算入することができませんので、注意してください。

この「実習 1」と「実習 2」のクラス指定の方法は、履修年次により異なります。

1 年次履修指定学部（理工学部・都市科学部）の場合は、学務情報システムを利用して言語とクラスを調整します。具体的には、履修する言語を選択した上でクラスの希望を登録します。希望者が多い場合は抽選となります。詳しくはオリエンテーションで配付される資料や掲示を確認してください。

2 年次履修指定学部（経済学部・経営学部）の場合は、1 年次の春学期（7 月頃予定）に希望言語の履修希望調査を行います。この結果に基づいて、履修する言語及びクラスを決定します。

なお、初修外国語での語学研修や海外留学を検討している場合、または 2 年次以降に演習科目の履修を希望している場合は、1 年次に実習科目を週 2 クラス（通年で 4 単位）履修することができます。また、2 年次履修指定学部（経済学部・経営学部）でも、英語等での半年以上の海外留学を検討している場合は、1 年次に実習科目を週 1 クラス（通年で 2 単位）でも履修することができます。これらを検討している場合は、学生センター（学務部教育企画課全学教育係）へ申し出てください（都市科学部を除く）。その後、1 年次履修指定学部の学生と同様の手続（学務情報システムによるクラス調整）を行ってください。

同一学期で「実習 1」（または「実習 2」）を 2 クラス履修する場合、同一教員のクラスを履修することはできません。なお、別の学期の場合、同一教員のクラスを履修することはできます。「実習 2」のそれぞれのクラスは春学期に履修した「実習 1」と同一教員の同一曜日・時限のクラスを履修してください。

なお、中国語の実習科目を週 2 クラス（通年で 4 単位）履修する場合、日本人教員の実習と中国人教員の実習を週 1 科目ずつ履修して、バランスよく勉強することを推奨します。

ギリシア語及びラテン語は、すべての学部で 2 年次から履修できますが、経済学部と経営学部では修得単位の取り扱いが異なりますので、必ず確認してください。なお、ギリシア語及びラテン語は【1 セット 2 単位】で履修する必要はありません。

1 年次履修指定学部（理工学部・都市科学部）

	火曜日	金曜日
1 限	化学・生命系学科（全 EP） 都市社会共生学科	機械・材料・海洋系学科（海洋空間のシステムデザイン EP） 都市社会共生学科、建築学科、都市基盤学科
2 限	数物・電子情報系学科（数理科学 EP、電子情報システム EP、情報工学 EP） 環境リスク共生学科	機械・材料・海洋系学科（機械工学 EP、材料工学 EP） 数物・電子情報系学科（物理工学 EP）

2 年次履修指定学部（経済学部・経営学部）

	火曜日	金曜日
1 限	経営学部	経済学部
2 限		

※教育学部の所属学生で初修外国語を履修希望する場合は、教育学部の履修手引きを確認してください。

【都市科学部の履修方法】

都市科学部では、以下のとおり学科によって履修方法が異なります。

都市社会共生学科の履修方法

1 言語 4 単位の履修を原則とし、1 年次に週 2 クラス（通年で 4 単位）履修してください。なお、2 言語 4 単位の履修も可能です。

例 4 単位を履修する場合の科目の組み合わせ

1 言語 4 単位：AA 語実習 1（X 教員）＋AA 語実習 2（X 教員）
AA 語実習 1（Z 教員）＋AA 語実習 2（Z 教員）

2 言語 4 単位：AA 語実習 1（X 教員）＋AA 語実習 2（X 教員）
BB 語実習 1（Y 教員）＋BB 語実習 2（Y 教員）

外国語科目の履修基準を満たすために、さらに 2 単位履修する場合（初修外国語合計で 6 単位）は、1 年次と同じ言語の演習科目（1 科目 2 単位）か、実習科目（2 科目 2 単位）を履修してください。ただし、実習科目の履修は 2 言語までとします。（3 言語目を履修した場合は、外国語科目の卒業単位としては算入されませんが、全学教育科目の卒業単位数の合計には算入されます。）

なお、演習科目を履修するためには、次の（4）のとおり、あらかじめ同じ言語の実習科目 4 科目 4 単位の修得が必要です。

建築学科、都市基盤学科及び環境リスク共生学科の履修方法

1 言語 2 単位の履修を必修とし、1 年次に実習 1 と実習 2 の 2 科目 2 単位を履修してください。さらに外国語科目の履修基準を満たすために 4 単位履修する場合は、2 つの言語まで履修できます。言語と科目名の組み合わせ例は、上記の都市社会共生学科の説明を参照してください。1 年次に実習科目を週 2 クラス（通年で 4 単位）履修することもできます。

【留意事項】都市科学部外国語科目の履修方法について

都市科学部の外国語科目は、P.15 の履修基準表に基づき、英語科目及び初修外国語科目を合わせて 10 単位または 12 単位以上を履修する必要があります。詳しくは P.15 を参照してください。

（4）初修外国語演習科目（ギリシア語、ラテン語を除く）

初修外国語演習科目は、言語ごとに「〇〇語演習」「〇〇語発展演習」の 2 科目を開設します。「〇〇語演習」を履修するためには、あらかじめ「〇〇語演習」と同一言語の実習科目 4 科目 4 単位（「実習 1」＋「実習 2」のセットを 2 つ）修得することが必要です。さらに、「〇〇語演習」1 科目 2 単位を修得すれば、同一言語の「〇〇語発展演習」を履修することができます。

演習科目は、授業内容や習熟度等がクラスによって異なりますので、WEB シラバスをよく確認し、自分にとって授業内容とレベルがあったクラスを履修するようにしてください。同一学期に同じ科目を複数履修する場合は、別の教員のクラスでなければ履修することはできませんので、注意してください。

なお、学部教育科目の時間割の関係、あるいは学びたい言語の開講クラスが少ない等の事情で、実習科目 4 科目の履修が困難な場合、条件を満たせば、「実習科目」を 4 単位修得していなくても、その言語の「〇〇語演習」を履修することができる「スピード履修」という制度があります。

希望する学生は、各学期の履修登録の最終日の 1 週間前までに学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。

（5）実習科目のスキップ履修

本学に入学する前に初修外国語を学習した経験があるなど次の履修条件の一つを満たしている場合、初級レベル「実習科目」を履修せずに、中級レベル「演習科目」の「〇〇語演習」から「スキップ履修」することができます。ただし、スキップ履修した場合であっても、卒業に必要な初修外国語の単位数は変わりません。必要な数だけ演習科目を履修したり、次の（6）検定初修外国語科目を利用したりして、卒業に必要な単位数を満たしてください。

希望する学生は、各学期の履修登録の最終日の 1 週間前までに学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。

＜履修条件＞

1．当該外国語の初級課程を高校その他の教育機関などで学習したことがあり、証明する文書（成績証明書、履修証明書、検定合格証書等）が提出できる学生

2．大学入試センター試験で当該外国語を受験した学生

3．当該外国語教育に関わる本学教員が実施する初級学力試験に合格した学生

（6）検定初修外国語科目

外部検定試験において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定初修外国語科目があります。検定初修外国語科目の単位は、卒業に必要な初修外国語の単位に算入されます。ただし、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1 科目につき単位認定できるのは 1 回のみとなります。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定ドイツ語	2	合格	ドイツ語技能検定試験（ドイツ語学文学振興会）4 級合格、またはドイツ語検定試験（ゲーテ・インスティトゥート）A2 合格
検定フランス語	2		実用フランス語技能検定試験（フランス語教育振興協会）4 級合格、または DELF（フランス国民教育省フランス語学習資格）A2 合格
検定イスパニア語	2		スペイン語技能検定（スペイン語技能検定委員会）5 級合格、またはスペイン語認定証（セルバンテス文化センター東京）DELE A2 合格
検定ロシア語	2		ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会／東京ロシア語学院）4 級合格
検定中国語	2		中国語検定（HSK）3 級合格、または中国語検定試験（日本中国語検定協会）準 4 級合格
検定朝鮮語	2		ハングル能力検定試験（ハングル能力検定協会）5 級合格、または韓国語能力検定（韓国教育財団）1 級合格

7．健康スポーツ科目の履修について

（1）健康スポーツ科目の編成

学　部	授業科目名	単位	学期	履修年次	必修･選択別
教育学部	健康スポーツ演習Ａ	2	春または秋	1	必修科目
全学共通	健康スポーツ演習Ｂ	2	春または秋	1～4	選択科目

※教育職員免許状取得希望学生は健康スポーツ演習Ａまたは健康スポーツ演習Ｂ（2 単位）が必修となります。

※健康スポーツ演習Ｂについて、教育学部の履修年次は 2～4 年次とします。

（2）健康スポーツ演習の履修方法

①健康スポーツ演習 A

健康スポーツ演習 A は、教育学部 1 年次学生の必修科目とし、教育職員免許状取得における体育全般についての基礎的な知見の修得を目標とします。

演習科目は複数授業開設されており、その中から 1 つ授業を選択履修します。詳細については 1 年次春学期の最初に行われる健康スポーツ演習 A のオリエンテーションの際に説明します。授業オリエンテーションを欠席すると履修できないことがあるので注意してください。

なお、疾病または身体障がいを理由として履修が困難な学生は、教育学部健康スポーツ教育担当窓口（教育学部第 1 研究棟 S3-2／104 室）に直接届け出て指示を受けてください。

②健康スポーツ演習 B

健康スポーツ演習 B は、すべての学部生の選択科目（全学共通）として、健全な心身の発育発達の保障と運動習慣の体得を目標とします。

演習科目は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）で定められた全学教育科目の履修基準に従って履修することになります。

（3）健康スポーツ演習 B の履修登録手続き

健康スポーツ演習 B は、適正な授業運営と教育効果の向上から履修学生数の制限を行います。履修登録を希望する学生は、各学期開講日から 1 週間内に開催されるオリエンテーションを受け、第一次登録をします。履修希望学生数が履修定員を超えた場合は抽選を行います。抽選に受かった学生は、やむをえない事情がない限り、必ず履修登録をすることとします。

抽選に外れた場合、もしくは新たな授業を希望する場合、開講 2 週目に各授業の開講場所において、第二次登録手続きをします。

なお、集中授業のオリエンテーションも開講 1 週目に行います。

日時と場所は次の通りです。

第一次登録	授業開講 1 週目の開講時限　＜体育館＞
第二次登録	授業開講 2 週目の開講時限　＜各授業の開講場所＞
集中授業登録	授業開講 1 週目の水曜日 12:15～12:45　＜体育館＞

※第一次登録後の空き状況は、第二次登録前に各学部の掲示板に掲示します。

（4）健康スポーツ演習の履修上の注意

① 健康スポーツ演習は、科目の性格上、出席を特に重視しており、規定の出席回数に満たないときは、単位は認定されません。

② 再履修する場合は、同一名称の科目を履修すること。ただし、健康スポーツ演習 B においては、種目は問いません。

８．グローバル教育科目の履修について

グローバル教育科目は、世界事情科目、国際交流科目、海外研修の 3 つの分野を設定しています。

（1）「世界事情科目」

21 世紀グローバル新時代では、世界的な経済発展の軸がシフトしたアジア等新興国の多様な社会制度、文化、宗教や商慣習等の理解が重要であり、これら新興国等の国や地域別の事情を学ぶ新しいジャンルの授業科目です。また、世界事情の理解を深めるための授業科目も含みます。国や地域別の事情を学ぶ科目としては、2019 年度は「中国事情Ⅰ、中国事情Ⅱ、台湾事情、韓国事情、ベトナム事情、インドネシア事情、ブラジル事情、パラグアイ事情」の 8 科目を開講します。これとは別に留学生のための授業科目として「日本事情」を開講します。

（2）「国際交流科目」

グローバル教育科目（国際交流科目）は、都市科学部都市社会共生学科及び国際戦略推進機構がすべての学部を横断して共同運営する「YOKOHAMA Creative-City Studies(YCCS)特別プログラム」の英語に

よる授業科目です。これらの科目は、すべての学部生が履修できます。（都市科学部の学生は扱いが異なる科目があります。詳しくは都市科学部の履修案内または掲示を参照してください。）

なお、それぞれの科目に必要とされる英語の能力等、受講条件を確認したい場合は、各授業担当教員に問い合わせてください。

（３）「海外研修」

国際戦略推進機構が実施する海外（語学）集中キャンプや海外ショートビジット（SV）等において単位が認められる場合の授業科目です。

海外研修については、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）により卒業に必要な単位には算入されない場合がありますので、単位の取扱いについては、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

【グローバル PlusONE 副専攻プログラム】

グローバル PlusONE 副専攻プログラムは、「YOKOHAMA Creative-City Studies (YCCS)特別プログラム」が開講する英語による授業科目「国際交流科目」等の所定単位を修得すると「副専攻修了証書」が発行されるとともに、成績証明書に副専攻名と修了コース名称が記載される正規の副専攻プログラムです。

グローバル PlusONE 副専攻プログラム「履修案内」を配付しています。学生センター（学務部国際教育課国際教育係）に遠慮なく相談してください。なお、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）により卒業に必要な単位には算入されない場合がありますので、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

【グローバルスタディズ副専攻プログラム】

グローバルスタディズ副専攻プログラムは、国際事情の理解を土台とし、インタラクティブな学修活動や海外での実践的な学びを通して、優れた異文化間協働能力を備えることを目指した副専攻プログラムです。

所定の科目を履修し、ショートビジットあるいは海外インターンシップ等の新興国等での海外経験を経ることにより、修了証書が授与されます。

グローバルスタディズ副専攻プログラムについては、学生センター（学務部国際教育課国際教育係）に遠慮なく相談してください。

９．イノベーション教育科目の履修について

イノベーション教育科目では、入門的基幹知（領域）、技術革新思考（領域）、社会実装戦略（領域）、キャリア形成実践知（領域）の 4 つの領域を設定しています。

なお、イノベーション教育科目「キャリア形成実践知（領域）」1000 番台の授業科目は、ライフキャリアを考える授業内容であり、1 年次での履修を推奨します。

【地域交流人材育成副専攻プログラム】

地域交流人材育成副専攻プログラムは、地域実践教育研究センターがすべての学部を横断して共同運営しており、所定単位を修得すると「副専攻修了証書」が発行されるとともに、成績証明書に副専攻名が記載される正規の副専攻プログラムです。地域交流人材育成副専攻プログラム「履修案内」を配付しています。

地域実践教育研究センター（経済学部 1 号館 N4-1／406 室）に遠慮なく相談してください。

１０．高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）について

（1）高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）

高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは、学年（年齢）や人種を越えたダイバーシティの視野を広げるとともに、全学部に横断した科目開講により学問の多様性を幅広く修得する制度です。

学生の所属学部が指定する授業科目を 3－4 年次の高学年において履修することを奨励しています。

（2）高度全学教育指定科目の履修上の注意

高度全学教育指定科目の履修は、全学教育科目の「基礎科目」「英語演習」「初修外国語演習」「グローバル教育科目」「イノベーション教育科目」および「学部向け大学院全学教育科目」のうち、学生の所属学部が指定した授業科目を 3 年次以降（学部向け大学院全学教育科目は 4 年次）に履修した場合に認められます。

なお、経済学部、経営学部、都市科学部の学生は、高度全学教育指定科目の履修が義務づけられていますので、所属学部の履修案内（履修手引）を必ず確認してください。

【YNU リーディング・レクチャ・シリーズ（YNU Leading Lecture Series）】

YNU リーディング・レクチャ・シリーズ（YNU Leading Lecture Series）とは、本学の各分野の若手中堅教員の発案から、学長が企画した授業科目です。これらの科目は、公募により選ばれた本学の専任教員が、大学の特色やビジョンに係わる「文理融合」「グローバル・ローカル」「アジア新時代」や、「共生」「ダイバーシティ」「エネルギー・環境」「サステナビリティ」「倫理」など、社会の諸課題をテーマとして、新しい視点、新しい形態で行う全学教育科目です。

2019 年度は、6 科目が開講されます。YNU リーディング・レクチャ・シリーズは、独立した科目群ではなく、イノベーション教育科目といった既存の区分の科目として開講されますので、修得した単位数は、それぞれの科目に対応した区分で集計されます。

１１．放送大学科目の履修について

全学教育科目では、教育協力型単位互換制度による「放送大学科目（特別聴講学生）」を導入しています。

本制度の導入によって、放送大学科目の単位認定試験を本学キャンパス内講義室で実施することが可能です。また、従来のテレビ・ラジオ放送による視聴のほか、インターネットの利用により放送授業全 15 回の講義がいつでも視聴が可能です。さらには、一定の条件（通信指導問題の提出、単位認定試験期間には帰国）を満たせば、海外においても履修することが可能です。

放送大学科目は、関連する専攻分野を深める、あるいは本学が開講していない専攻分野を学ぶことを希望

する学生に、広い関心と興味に応じた履修の機会を提供しています。

（1）放送大学科目の履修手続き

放送大学科目の履修手続きは、本学が開講する全学教育科目の履修登録期間とは異なり、1年次秋学期からの履修となります。所属学部の掲示板等を確認してください。疑問な点や不明なことがあれば、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

【放送大学科目登録時期】
1年次秋学期の履修　　2019年 7月頃
2年次春学期の履修　　2020年1月頃

（2）放送大学科目の履修科目とその扱い

放送大学科目の成績評語は「認定」で表し、GP（Grade Point）は与えません。

なお、放送大学科目の外国語科目を履修した場合は、2単位の授業であっても本学では1単位として認定されます。

学部	放送大学科目単位互換制度における単位の扱い
教育学部	卒業に必要な単位には算入されません。
経済学部	卒業に必要な単位には算入されません。
経営学部	卒業に必要な単位には算入されません。 ただし、社会人教育プログラムは、外国語科目必修4単位を含む合計20単位まで全学教育科目の卒業に必要な単位に算入されます。
理工学部	＜海洋空間のシステムデザインEP＞ 英語科目を除き卒業に必要な単位に算入されます。ただし、初修外国語科目は4単位まで算入されます。 ＜化学・生命系学科全EP＞ 基礎科目2単位まで、初修外国語科目2単位まで卒業に必要な単位に算入されます。 ＜物理工学EP＞ 基礎科目、初修外国語科目10単位まで卒業に必要な単位に算入されます。 ＜電子情報システムEP＞ 基礎科目、初修外国語科目3科目6単位まで卒業に必要な単位に算入されます。 ＜情報工学EP＞ 基礎科目、初修外国語科目2単位まで卒業に必要な単位に算入されます。 ＜上記以外のEP＞ 卒業に必要な単位には算入されません。
都市科学部	＜都市社会共生学科＞ 外国語科目を除き、全学教育科目として2単位まで卒業に必要な単位に算入されます。 ＜上記以外の学科＞ 英語科目を除き、初修外国語科目または全学教育科目として2単位まで卒業に必要な単位に算入されます。

１２．留学生のための授業科目について

留学生が履修する授業科目として、日本語科目及び日本事情科目があります。授業の履修方法や必修単位数については所属学部の学務担当係に、授業の内容については日本語教育部（国際教育センターS1-3）に問い合わせてください。

（1）日本語科目

日本語科目は、本学で学修するために必要な日本語力を育成する科目として、基本的な日本語力を育成する「実習科目」と、その実習科目を発展させて社会や研究生活に適した思考力・表現力を育成する「演習科目」があります。

すべての留学生は、入学時に「日本語プレイスメントテスト」を受け、日本語力のレベルにより「中級者」と「上級者」に判定されます。

授業科目名		セメスター	単位	履修年次	履修上の注意
実習科目	日本語中級 A	春	1	1 年次	中級者向けクラスであり、上級者は履修できません。 中級者は 1 年次春学期に履修してください。 ※日本語中級 G は 2 限連続授業のため 2 単位です。
	日本語中級 C		1		
	日本語中級 D		1		
	日本語中級 E		1		
	日本語中級 F		1		
	日本語中級 G		2		
	日本語中級 H		1		
	日本語上級 A	春	1	1 年次 ～4 年次	中級者は 1 年次秋学期から履修できます。
	日本語上級 B	秋			
	日本語上級 D	秋			
	日本語上級 E	春			
	日本語上級 F	春			
	日本語上級 H	秋			
	日本語上級 I	春			
	日本語上級 J	秋			
	日本語上級 K	春			
	日本語上級 M	春			
	日本語上級 O	春			
演習科目	日本語演習 A	春	2	1 年次 ～4 年次	演習科目は 1 年次秋学期から履修できます。
	日本語演習 B	秋			
	日本語演習 C	秋			

①　中級者の履修方法

中級者に判定された留学生は、日本語の実習科目のうち、1 年次春学期に「日本語中級」を履修します。日本語力を高め、本学の学修をスムーズに進めるため、できる限り多くの日本語中級クラスの履修を強く奨励します。1 年次秋学期から「日本語上級」を履修します。また、「日本語演習」を履修することもできます。

② 上級者の履修方法

上級者に判定された留学生は、「日本語中級」は履修できません。1 年次春学期から「日本語上級」を履修します。1 年次秋学期以降において「日本語上級」「日本語演習」の履修を奨励します。

③ 演習科目の履修方法

留学生は、1 年次秋学期以降から「日本語演習」を履修できます。ただし、「日本語上級」を履修してからの演習科目の履修を奨励します。

④ 日本語科目の評価方法

日本語科目の評価は、小テスト、プレゼンテーション、中間の課題、学期末の課題（試験またはレポート）などを評価基準としています。評価方法は、各授業科目のシラバスで確認してください。

⑤ 外国語科目との代替措置

日本語科目を履修した場合、教育学部・経済学部・経営学部・理工学部は初修外国語科目に、都市科学部は英語科目、初修外国語科目に代替することができます。

なお、経営学部留学生においては、日本語レベル「上級者」は 6 単位、「中級者」は前述 6 単位に加え「日本語中級」4 単位を履修しなければなりません。

（2）日本事情科目

日本事情科目は、グローバル教育科目（世界事情）において開講します。

科目	学期	単位	履修年次
日本事情　日本の企業システム	春	2	1 年次～4 年次
日本事情　日本の就職事情	秋	2	1 年次～4 年次

【CAREERS IN JAPAN 副専攻プログラム】

CAREERS IN JAPAN 副専攻プログラムは、日本で就職を希望する外国人留学生の就業力を強化する科目を厳選した留学生キャリア開発促進を目指した副専攻プログラムです。

日本企業の新入社員採用ニーズに合致した素養と知識を習得し、日本社会および企業文化の理解を深める科目の履修を通じ、日本でキャリアを形成することができる国際的な人材を育成し、留学生の日本社会への定着の拡大を目的としています。

CAREERS IN JAPAN 副専攻プログラムについては、学生センター（学務部国際教育課外国人留学生就職支援デスク）に遠慮なく相談してください。

１３．教育職員免許状について

（１）教育職員免許状の取得

本学では、教育学部、理工学部、都市科学部（環境リスク共生学科）に教職課程を開設し、次の教育職員免許状が取得できます。

学部	学科・課程	教員免許状の種類	免許教科・特別支援教育領域
教育学部	学校教育課程	小学校教諭一種	
		中学校教諭一種 中学校教諭二種	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
		高等学校教諭一種	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、工業、家庭、英語
		特別支援学校教諭一種	聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者
理工学部	機械･材料･海洋系学科	中学校教諭一種	数学、理科
		高等学校教諭一種	数学、理科
	化学･生命系学科	中学校教諭一種	理科
		高等学校教諭一種	理科
	数物･電子情報系学科	中学校教諭一種	数学、理科
		高等学校教諭一種	数学、理科、情報
都市科学部	環境リスク共生学科	中学校教諭一種	理科
		高等学校教諭一種	理科

（２）教職課程の履修

教育職員免許状は、教職課程において教育職員免許法に定める科目を履修し、教育実習や介護等体験実習、教職実践演習（履修カルテの作成）など、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が設定する授業科目履修と同時に、教職課程プログラムを 4 年間継続して体系的に履修する必要があります。

教育職員免許状の取得を希望する学生は、所属学部で開催する教職課程に関するオリエンテーションに必ず出席してください。

（３）教育職員免許状取得に必要な全学教育科目

教育職員免許状の取得を希望する学生は、所属学部を問わず、次の全学教育科目の単位を修得する必要があります。

① 日本国憲法（2 単位）
② 健康スポーツ演習Ａまたは健康スポーツ演習Ｂ（2 単位）
③ 英語プレゼンテーション（1 単位）及び自立英語（1 単位）

その他不明な点は、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

Ｖ．全学教育科目の単位の認定

１．定期試験について

（１）定期試験

授業科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

全学教育科目の定期試験は、原則としてターム科目は第８週目に、セメスター科目は第 16 週目に、筆記試験により行います。なお、セメスター科目の第８週目は通常授業となります。

ただし、授業担当教員によっては、筆記試験とレポートを併用する、あるいは定期試験に代えてレポート等の提出や実技・演習等により行うことがあります。この場合は、指定された提出先へ所定の期間内に提出する必要があります。また、中間試験等を実施することもありますので、所属学部の掲示板やＷＥＢシラバスを確認してください。

定期試験期間

春学期	第１ターム科目 ２０１９年　５月３１日（金）～　６月　６日（木） 春セメスター科目／第２ターム科目 ２０１９年　７月２６日（金）～　８月　２日（金）
秋学期	第４ターム科目 ２０１９年１１月２７日（水）～１２月　３日（火） 秋セメスター科目／第５ターム科目 ２０２０年　２月　４日（火）～　２月１２日（水）

※第３ターム（夏季休業期間）、第６ターム（春季休業期間）は別に定める。

（２）定期試験の時間割発表

全学教育科目における定期試験の時間割発表は、定期試験開始前の 2 週間前を目途に掲示板により行います。試験時間割（試験教室）は、通常の授業時間割（講義教室）と異なることがありますので掲示板を必ず確認してください。

また、定期試験以外の試験については、授業中において発表し、特に掲示をしないことがありますので注意してください。

２．定期試験の受験上の注意について

（１）不正行為

定期試験において、不正行為（身代わり受験やカンニング等）を行い、学則による懲戒処分を受けた学生は、当該学期に履修した授業科目（当該学期に履修登録したセメスター科目及びターム科目）の単位がすべて無効となります。

（２）学生証の提示

定期試験を受験する際は、必ず学生証を机上に提示してください。学生証を忘れた学生は受験することはできません。学生証の再発行は申請から 7 日後です。

忘れる、紛失等した場合は、「仮受験票」等を発行しますので、所属学部の学務担当係に申し出てください。

（３）試験室の入室等について

指定された試験室には、試験開始時刻前に入室し、原則として他の学生と隣り合わないように、横に一人分のスペースを空けて、着席してください。また、科目担当教員により座席指定されている場合には、その指示に従って着席してください。

（４）定期試験時間中の所持品等について

筆記用具及びあらかじめ許可されたもの以外は、机上に置くことはできません。

定期試験に必要としない所持品（筆箱や下敷きを含む。）等は、かばん等の中に入れ、机の下に置いてください。

特に携帯電話等電子端末は、電源を必ずオフにして、その他の所持品等と同様に、かばん等の中に入れてください。携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。

（５）遅刻者及び退出者の取扱い

遅刻した学生は、特別な事情がある場合に限り、試験開始から 20 分までに入室した場合は受験が認められますが、20 分以上遅刻した学生は受験することができません。

また、試験開始から 30 分以上経過するまでは、試験室から途中退出することは認めていません。

（６）その他の注意事項

試験の解答用紙には、学籍番号及び氏名その他必要な事項を明記してください。これらを記入していない答案は、無効となることがありますので注意してください。

定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生は、退席を命じることがあります。

これらのほか、定期試験の実施要領や受験上の注意事項について、所属学部の履修案内や掲示板を参照してください。

３．追試験について

（１）追試験の事由

追試験とは、定期試験を次の（ア）～（エ）に該当する事由により受験できなかった場合は、当該授業科目について追試験の実施を申請することができます。

なお、本学では、再試験（何らかの事情により一度行った定期試験を最初からやり直すこと）は原則として行いません。

（ア）本人の疾病または負傷（医師の診断書を必要とする）

（イ）両親または同居の親族の死亡（事実を確認できる書類を必要とする）

（ウ）交通機関の著しい遅延・運休（事実を証明する書類を必要とする）

（エ）その他、学部長がやむを得ない理由があると認めたとき

（２）追試験の申請手続き

追試験を申請する場合は、当該定期試験期間終了日の翌日 17 時までに、所属学部の学務担当係まで「追試験申請書」と併せて必要書類を提出してください（E メール申請可、代理人申請可）。

（３）追試験の実施方法

追試験は、当該定期試験期間終了後、速やかに実施します。

なお、追試験の実施方法は、科目担当教員が指定する方法とします。

Ｑ：大学の定期試験はどのように実施されますか？
Ａ：大学の定期試験は、授業内容に沿った筆記試験を行うものが多いですが、定期試験を実施しない科目や、定期試験の代わりにレポートを提出させる科目があります。また、筆記試験に際し、テキストやノートの持込を許可している科目もあります。 このように、大学の定期試験は、高校の定期試験とは異なり、科目担当教員ごとに多種多様な形式により行われます。定期試験の有無や方法については、WEB シラバスに記載されていますので、最初に確認しておくとよいでしょう。

Ｑ：大学のレポートはどうやって書けばいいのですか？
Ａ：大学の授業では、レポートが課されることがしばしばあり、それが成績評価の対象になります。レポートは、高校までに書いてきた作文や小論文とは異なりますので、書き方の一定のルールを知り、それに従って書くことが必要です。また、テーマに関係のある文献や資料を十分な時間をかけて情報収集をする必要があり、課題がでたら早めに取り組むようにしましょう。 レポート作成において、他人のアイデア（着想）や意見、見解等をまるで自分が独自に考えたことのように、出版物やインターネット上の情報をそのままコピー&ペースト（コピペ）することは剽窃行為であり、不正行為となります。 文献（図書、論文、雑誌、新聞、信用のあるインターネットサイト情報等）から、他人の意見や見解等を正しく引用するルールを身に付けることが重要となります。 また、レポート作成だけではなく、定期試験において決してカンニング（不正行為）を行わないでください。

４．授業科目の成績評価について

（１）成績評価の基準と方法

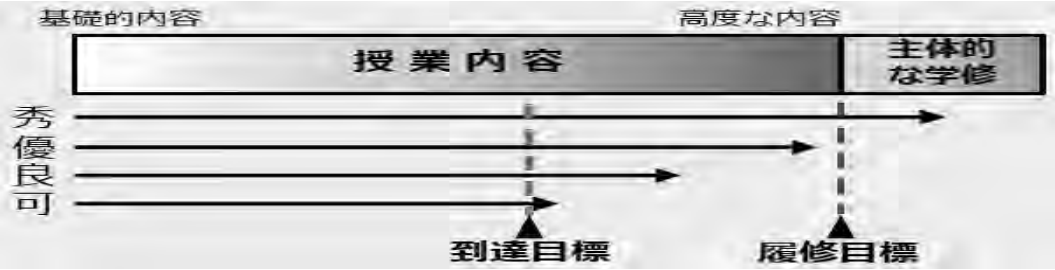
授業科目の成績は、全学統一の成績評価の基準に基づき、WEB シラバスに記載された成績評価の方法によって総合判定し、成績評語（グレード）を「秀・優・良・可・不可」の５段階で表すとともに、それぞれの授業科目の評語に対して GP（Grade Point）を与えます。ただし、５段階の成績評価が難しい授業科目は「合格・不合格」で表すとともに、GP（Grade Point）を与えません。

授業科目の単位は、「秀・優・良・可・合格」を修得した学生に対して授与されます。

成績評価の基準

評語	成績評価の基準	GP	評価点
秀	履修目標を越えたレベルを達成している	4.5	100－90 点
優	履修目標を達成している	4	89－80 点
良	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している	3	79－70 点
可	到達目標を達成している	2	69－60 点
不可	到達目標を達成していない	0	59－0 点

※評価点はシラバスに記載する「成績評価の基準」によって科目担当教員が算出している点数であり、必ずしも定期試験等の点数と同じではありません。



（2）GPA 制度と卒業要件

本学は GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPA とは、学生が履修した授業科目の成績評価に対する GP（Grade Point）に当該科目の単位数を掛け、その総和を履修登録科目の総単位数で除して算出されます。

GPA 計算式

GPA ＝ Σ（GP × 単位数）／ 履修登録単位数

本学の卒業要件は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が定める卒業に必要な修得すべき単位数以上の修得要件等に加え、GPA2.0 以上を満たす必要があります。例えば、必要以上に授業科目を履修し、単位を修得できない場合は、GPA が下がることになりますので、無理がなく十分な学修時間が確保できるよう履修計画をたてる必要があります。

なお、学士プログラムによっては、GPA に算定されない授業科目があります。詳しくは所属学部の履修案内（履修手引）を必ず確認してください。

（3）再履修制度

単位修得した授業科目の再履修は認めていませんが、履修の結果「不可」「不合格」の成績である場合には再履修が認められます。

再履修した場合の成績は、再履修後の成績に置き換えられます。

科目区分	再履修科目
基礎科目（人文社会系）	同一名称の科目を履修すること。 ただし、同一名称の科目が開講されていない場合、同一科目区分（人文社会系・自然科学系）の未修得科目の中から自由に選択。
基礎科目（自然科学系）	
外国語科目	【英語実習科目】【初修外国語科目】 同一名称の科目を履修すること。 【英語演習 1】 「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」の中であれば、別科目でも再履修として履修することができる。 【英語演習 2】 「英語演習 2a」「英語演習 2b」の中であれば、別科目でも再履修として履修することができる。
健康スポーツ科目	同一名称の科目を履修すること。ただし、健康スポーツ演習 B においては、種目は問いません。
グローバル教育科目	同一名称の科目を履修すること。 ただし、同一名称の科目が開講されていない場合、同一科目区分（グローバル教育科目・イノベーション教育科目）の未修得科目の中から自由に選択。
イノベーション教育科目	

（4）成績の自己管理

卒業するまでの学業成績、修得単位数と GPA は、学務情報システム及び YNU 学生ポートフォリオにより、成績を正確に把握してください。

成績の自己管理を怠っていると、卒業に必要な修得すべき単位数や GPA の修得状況の勘違い等により、卒業できない事態を招きかねませんので十分に確認してください。

（5）成績に関する問い合わせ

全学教育科目の成績に関する問い合わせは、所属学部の学務担当係または学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。なお、成績に関する問い合わせをする際は、個別成績表を必ず持参してください。

Q： GPA は何を目的に導入しているのですか？

A：本学は 2003 年度入学生から GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPA は、欧米の大学で用いられ始め、今日では発展途上国を含め世界各国に拡がっている国際的な成績評価システムです。日本では約 8 割（634）の大学で導入されています（2015 年度時点で 85%、文科省調べ）。学生のみなさんにとっての利点は、「YNU 学生ポートフォリオ」とあわせて利用することにより、自分自身で学修成果を把握することが容易になることです。所属学部生の GPA 成績分布図をみることができますので、あなた自身の位置を確認して、「学修意欲の向上」に是非役立ててください。またほとんどの海外の大学において、GPA は留学生を受け入れる際に必要な情報となっており、みなさんの海外留学の促進にも、役立っています。

所属学部の教員やスタッフも、みなさんの学修状況を数値的に把握することで、教育指導の向上を図っています。たとえば学年毎の成績最優秀者の選考では GPA を重視していますので、この点でも勉学・研究の励みの 1 つとして活用してください。

Q：成績の自己管理はどうやればいいのですか？

A：修得した成績と単位は、学生自身で正確に管理しなければなりません。

学生のみなさんには、所属学部の学務担当係から「全学教育科目が 2 単位足りないから、今年修得しないと卒業できません」と 4 年次に連絡することはありません。

学業成績、修得単位数と GPA は、「YNU 学生ポートフォリオ」により常に正確に把握し、次のセメスター（ターム）に履修する授業科目を学生自身が決定しなければなりません。もし、単位修得の状況について、少しでも不安があるときは、分からない事柄をよく整理して、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

Q：学生が教員の研究室を訪ねていいですか？

A：授業内容について質問があるときは、事前に教員に連絡してから研究室を訪ねてください。連絡先は、学内で学務情報システムを経由することで、WEB シラバスから調べることができます。また、研究者総覧からも調べることができます。

オフィスアワーを設定している教員の場合は、事前の連絡は不要です。

連絡先を公開していない、またオフィスアワーを設定していない教員の場合は、授業後に質問してください。

Ⅵ. 学外や海外における授業科目の履修等

１．修得単位の認定について

（１）修得単位の認定とは

他大学や大学以外の教育機関等から修得した単位は、所属学部で認定することで、本学における修得単位として認定する制度です。

本制度を利用することにより、関連する専攻分野を深める、あるいは本学にない専攻分野を学ぶなど、学生の幅広い関心と興味に応じた履修の機会が拡がります。

（２）修得単位の認定単位について

修得単位の認定科目は、成績評語は「認定」で表し、GP（Grade Point）は与えません。

２．横浜市内大学間単位互換制度の履修について

横浜市内大学間単位互換制度とは、横浜市内にある 12 の国公私立大学が単位互換協定を結び、各大学が提供する授業科目を相互に無料で履修できる制度です。所属学部での承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

本学が他大学履修できる大学は、神奈川大学、関東学院大学、國學院大学、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜商科大学、横浜市立大学の 11 大学です。

横浜市内大学間単位互換制度で履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係または学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に問い合わせてください。

３．放送大学単位互換制度（特別聴講学生）について

本学では、放送大学との単位互換協定に基づき、本学の学生が指定された単位互換科目を放送大学の「特別聴講学生」として履修した場合に、本学で修得したとみなし、認定する制度です。

履修の手続きなどは、P.36 を参照してください。

４．派遣留学先の授業科目の認定について

本学は、外国の大学等教育機関と学術交流協定を締結し、学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり、交流協定大学での授業履修により単位を修得した場合は、所属学部の承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

派遣留学により履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係に問い合わせてください。

Ⅶ. YNU 学生ポートフォリオについて

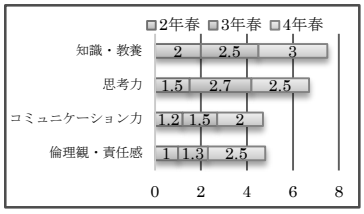
学務情報システムには、皆さんが自分の学修成果を可視化するツールとして「YNU 学生ポートフォリオ」があります。YNU 学生ポートフォリオは、成績や学修成果（講義からの学び、日々の気づきの記録）などを入れておくことができるWEB 上の自分専用ファイルで、学業の改善や就職活動に活用できます。詳細は冊子「YNUリテラシー：アカデミック・リテラシー編」、または学務情報システムのトップページにある説明（PDF版）を参照してください。

（1）履修登録前に学生プロファイルに入力する

毎学期、学期が始まったら、第1週目に学務情報システムから履修登録画面にアクセスし、学生プロファイルの入力を済ませてください。履修登録画面にアクセスすると、自動的にYNU 学生ポートフォリオの「学生プロファイル」画面が開きます。入力が完了しないと、履修登録画面に進みません。学生プロファイルの入力には1時間前後必要ですので、履修する科目を決める前に、あらかじめ学生プロファイルの入力を完了しておき、履修科目が決まったら、後日改めて履修登録画面にアクセスし履修登録するようにしてください。

新入生の春学期に入力する項目は、緊急連絡先、高校時代の学修・生活行動（チェックシート）、入学時に考えたこと（振り返りシート）の 3 つです。これらの入力内容は YNU 学生ポートフォリオに蓄積されますので、上級生になってから振り返って読み直し、あなたの成長の軌跡や立ち位置を確認するのに役立ちます。

（2）学生ポートフォリオの主要機能

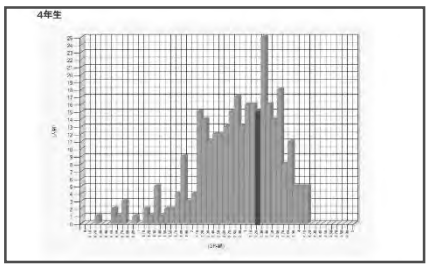


学務情報システム＞ポートフォリオ＞学士力チェック：２年次以降、春学期の学生プロファイルには学士力の自己チェックがあります。本学のディプロマ・ポリシーにある「学修成果の目標」の《4 つの実践的「知」》に基づき、成長度合いの自己チェック結果が表示されます。履修や学修計画の見直しに活用できます。

学務情報システム＞ポートフォリオ＞就業力チェック：1 年次の秋学期以降、秋学期の学生プロファイルには就業力自己チェックがあります。論理的思考力、課題解決力、交渉力、協調性など、どんな職業に就いても共通に必要とされる基礎的・汎用的スキルの自己チェック結果が表示されます。 強みを伸ばし、弱みを改善して、自己の成長の指標として活用してください。

学務情報システム＞ポートフォリオ＞振り返りシート：学業や学生生活からの学びを記録し、あなた自身で学業や学生生活、将来を構想するためのページです。学士力や就業力の自己チェック結果のグラフや、次項にある過去の履修科目や成績などを参照しながら記入してください。これらの記録は、就職活動の際にはエントリーシート作成等にも活用できます。

（3）学生ポートフォリオに関連する機能



学務情報システム＞履修・成績情報＞成績統計：自分の GPA と共に学部全体の GPA 分布図を確認できます。

学務情報システム＞履修・成績情報＞各種語学試験結果：学内で行われる TOEFL-ITP テストの結果を確認できます。

Ⅷ. 2019 年度開講全学教育科目一覧

開講科目に関する最新の情報や変更点は掲示板に掲示されますので、必ず確認してください。なお、対象学部の略称は以下のとおりです。

教：教育学部・教育人間科学部　　済：経済学部　　営：経営学部
理：理工学部　　都：都市科学部　　社：都市科学部都市社会共生学科

（1）基礎科目（人文社会系）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101001	GU.1111	春	木	3	哲学	松本 展明	2	【共通】	1～4	
9101002	GU.1111	秋	木	4	宗教学	江川 純一	2	【共通】	1～4	
9101003	GU.1111	秋	金	2	東洋思想史	独孤 嬋覚	2	【共通】	1～4	
9101004	GU.1121	秋	火	3	現代芸術論	樽沼 範久	2	【共通】	1～4	
9101005	GU.1122	春	金	3	Cinema	カルパントラ, ファビアン	2	教･済･営･理	1～4	
9101006	GJ.1121	春	金	3	国際理解　芸術による社会変革ソーシャルインクルージョン入門	野呂田 理恵子	2	【共通】	1～4	
9101007	GS.1121	春	月	2	歌の魅力	河野 克典	2	【共通】	1～4	
9101008	GS.1121	秋	木	3	音楽の基礎	大瀧 郁彦	2	【共通】	1～4	
9101009	GS.1121	春	木	3	民族音楽学入門	金光 真理子	2	【共通】	1～4	
9101010	GS.1121	秋	木	4	音楽と自然	島田 広	2	【共通】	1～4	
9101011	GS.1121	春	火	3	美術の見かた	小池 研二	2	【共通】	1～4	
9101012	GS.1121	秋	木	4	水彩画基礎技術	赤木 範陸	2	【共通】	1～4	
9101013	GS.1121	春	木	3	色彩論	渡辺 邦夫	2	【共通】	1～4	※1
9101014	GS.1121	秋	月	2	基礎造形B	藤森 民雄	2	【共通】	1～4	
9101015	GS.1131	春	月	2	日本の近代文学	一柳 廣孝	2	【共通】	1～4	
9101016	GS.1131	春	火	4	中国の古典文学	髙芝 麻子	2	【共通】	1～4	
9101017	GU.1131	秋	水	3	英米文学	平尾 吉直	2	【共通】	1～4	
9101018	GU.1131	春	金	3	ヨーロッパ文学	鈴木 重周	2	【共通】	1～4	
9101019	GS.1131	春	月	4	日本の言語	古田 恵美子	2	【共通】	1～4	
9101020	GJ.1131	秋	火	3	国際理解　国際交流における日本語の役割	半沢 千絵美	2	【共通】	1～4	
9101021	GS.1141	秋	月	2	地誌学概論	池口 明子	2	【共通】	1～4	
9101022	GS.1141	春	月	3	日本近現代史	加藤 千香子	2	【共通】	1～4	
9101023	GS.1141	春	木	3	ヨーロッパ近現代史	棚橋 信明	2	【共通】	1～4	
9101024	GF.1141	春	木	3	古代ギリシアの神話と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1～4	
9101025	GF.1141	秋	木	4	古代ローマの伝説と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1～4	
9101026	GJ.1141	秋	月	3	国際理解　日本語をめぐる国際交流史	小川 誉子美	2	【共通】	1～4	
9101027	GE.1141	秋	火	2	地域連携と都市再生B（かながわ地域学）	志村 真紀・池島 祥文・伊集 守直	2	教･済･営･理	1～4	※1
9101028	GJ.1141	秋	水	3	国際理解　日韓関係論	閔 東曄	2	【共通】	1～4	
9101029	GA.1141	春	水	5	横浜学--地域の再発見--	安野 舞子	2	【共通】	1～4	※1
9101030	GU.1151	春	水	1	文化人類学の考え方	松本 尚之	2	【共通】	1～4	
9101031	GJ.1151	秋	金	3	国際理解　日中比較文化論	鶴園 裕基	2	【共通】	1～4	
9101032	GL.1161	春	月	4	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※2
9101033	GL.1161	秋	月	4	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※2
9101034	GL.1161	春	月	5	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※2
9101035	GL.1161	秋	月	5	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※2
9101036	GL.1161	秋	木	4	現代と法	川端 康之	2	【共通】	1～4	
9101037	GL.1161	春	火	3	法学概論	竹内 明世	2	【共通】	1～4	
9101038	GL.1161	春	火	3	法と人間	今村 与一	2	【共通】	1～4	
9101039	GE.1161	秋	火	4	現代政治（日本）	内田 智	2	【共通】	1～4	
9101040	GE.1161	秋	月	2	現代政治（国際）	椛島 洋美	2	【共通】	1～4	
9101041	GA.1161	秋	火	3	〈良い議論〉をするための法哲学	米村 幸太郎	2	【共通】	1～4	
9101042	GG.1161	春	月	3	神奈川のみらい	林田 昌也	2	【共通】	1～4	※1
9101043	GE.1171	春	月	2	経済学の諸課題Ⅰ	鈴木 雅貴	2	【共通】	1～4	
9101044	GE.1171	秋	月	2	経済学の諸課題Ⅱ	西川 輝	2	【共通】	1～4	
9101045	GE.1171	春	月	2	社会科学概論A	吉本 惣一	2	【共通】	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101046	GE.1171	秋	月	2	社会科学概論B	吉本 惣一	2	【共通】	1～4	
9101047	GE.1171	秋	火	2	社会科学の方法	板井 広明	2	【共通】	1～4	
9101048	GE.1171	秋	火	1	社会科学の歴史	板井 広明	2	【共通】	1～4	
9101049	GE.1171	春	月	2	現代の経済A	伊集 守直	2	教・営・理・都	1～4	
9101050	GE.1171	春	火	3	現代の経済A	相馬 直子	2	教・営・理・都	1～4	
9101051	GE.1171	秋	木	4	現代の経済B	亀卦川 芽以	2	教・営・理・都	1～4	
9101052	GE.1171	秋	木	2	現代の経済B	虞 朝聞	2	教・営・理・都	1～4	
9101053	GB.1171	春	月	1	現代の経営	小川 慎一・他	2	【共通】	1～4	
9101054	GB.1171	秋	火	5	ベンチャーから学ぶマネジメント	井上 徹・他	2	【共通】	1～4	※1
9101055	GB.1171	春	火	5	経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	井上 徹・他	2	【共通】	1～4	
9101056	GB.1171	秋	木	4	現代の物流経営	松井 美樹	2	【共通】	1～4	※1
9101057	GG.1171	春	月	3	経営者の役割と従業員の役割	小澤 重夫	2	【共通】	1～4	
9101058	GG.1171	秋	月	3	実践新商品企画	林田 昌也	2	【共通】	1～4	
9101059	GG.1171	第3	集中		実践地域と起業	林田 昌也・井手 美由樹	2	【共通】	1～4	※1
9101060	GG.1171	春	火	4	アントレプレナー入門	為近 恵美	2	【共通】	1～4	
9101061	GG.1171	秋	火	4	アート・マネジメント	小澤 重夫・永澤 桂	2	【共通】	1～4	
9101062	GS.1181	秋	月	3	心理学A	渡邊 寛	2	【共通】	1～4	
9101063	GS.1181	春	火	4~5隔週	心理学B	堀井 俊章	2	【共通】	1～4	
9101064	GS.1181	秋	月	2	心理学B	高本 真寛	2	教育	1～4	
9101065	GS.1181	春	金	4	障害と周辺領域Ⅰ	松下 浩之	2	【共通】	1～4	
9101066	GS.1181	春	木	4	心理学史	鈴木 朋子	2	【共通】	1～4	
9101067	GS.1181	春	月	2	社会心理学入門	宮戸 美樹	2	【共通】	1～4	
9101068	GS.1181	春	月	2	人と動物の関係学	安藤 孝敏	2	【共通】	1～4	
9101069	GA.1181	秋	水	4	人と動物の幸せな共生を考える	安野 舞子	2	【共通】	1～4	
9101070	GS.1181	春	月	4	教育学（教育と人間）	矢野 泉	2	【共通】	1～4	
9101071	GS.1181	秋	月	2	教育学（教育と人間）	新谷 康浩	2	【共通】	1～4	
9101072	GS.1181	秋	木	4	教育学（教育と人間）	橘高 佳恵	2	【共通】	1～4	
9101073	GS.1181	秋	木	4	学校教育最前線	野中 陽一・石塚 等・大内 美智子・北村 公一・名執 芳彦・大島 聡・臨本 健弘	2	【共通】	1～4	
9101074	GS.1181	春	火	3	子どもの発達や課題の理解	佐野 泉	2	【共通】	1～4	
9101075	GS.1181	春	火	4	職業と教育	横尾 恒隆	2	【共通】	1～4	
9101076	GS.1181	秋	木	3	生涯発達論	園田 菜摘	2	教育	1～4	
9101077	GS.1181	春	火	3	家庭科で考えるこれからの人生	堀内 かおる	2	【共通】	1～4	
9101078	GS.1181	春	火	3	特別支援教育入門	徳永 亜希雄・他	2	【共通】	1～4	※3
9101079	GS.1181	秋	火	3	特別支援教育入門	関戸 英紀・他	2	【共通】	1～4	※3
9101081	GS.1181	秋	月	5	日本語を教えよう	河野 俊之	2	【共通】	1～4	
9101082	GS.1181	春	不定期		学外活動（教育ボランティア）	島田 広	2	【共通】	1～4	※4
9101083	GS.1181	秋	不定期		学外活動（教育ボランティア）	島田 広	2	【共通】	1～4	※4
9101084	GS.1181	秋	火	3	現代社会論	野澤 淳史	2	【共通】	1～4	
9101085	GS.1181	秋	月	2	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	松葉口 玲子	2	教育	1～4	
9101086	GS.1181	春	火	3	家族生活と法	小沢 奈々	2	【共通】	1～4	
9101087	GS.1181	春	月	5	戦争文化論	白取 道博	2	【共通】	1～4	
9101088	GP.1181	秋	金	5	危機管理学	澁谷 忠弘	2	【共通】	1～4	
9101901	GB.1111	春	火	7	哲学Ⅰ	野村 智清	2	【共通】	1～4	
9101902	GB.1111	秋	火	7	哲学Ⅱ	野村 智清	2	【共通】	1～4	
9101903	GB.1111	春	金	6	論理・倫理Ⅰ	長田 怜	2	【共通】	1～4	
9101904	GB.1111	秋	金	6	論理・倫理Ⅱ	長田 怜	2	【共通】	1～4	
9101905	GB.1121	春	月	6	美学及び美術史Ⅰ	森山 緑	2	【共通】	1～4	
9101906	GB.1121	秋	月	6	美学及び美術史Ⅱ	森山 緑	2	【共通】	1～4	
9101907	GB.1131	春	金	6	国語・国文学Ⅰ	伊藤 高雄	2	【共通】	1～4	
9101908	GB.1131	秋	金	6	国語・国文学Ⅱ	伊藤 高雄	2	【共通】	1～4	
9101909	GB.1141	春	金	6	歴史Ⅰ	穴山 朝子	2	【共通】	1～4	
9101910	GB.1141	秋	金	6	歴史Ⅱ	穴山 朝子	2	【共通】	1～4	
9101911	GB.1161	春	月	6	法学	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	
9101912	GB.1171	春	水	6	社会科学概論Ⅰ	飛田 綾子	2	【共通】	1～4	
9101913	GB.1171	秋	水	6	社会科学概論Ⅱ	飛田 綾子	2	【共通】	1～4	
9101914	GB.1171	春	水	7	経済Ⅰ	中田 大悟	2	【共通】	1～4	
9101915	GB.1171	秋	水	7	経済Ⅱ	中田 大悟	2	【共通】	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101916	GB.1181	春	水	6	心理学	山田 一子	2	【共通】	1～4	
9101917	GB.1181	春	水	6	社会学Ⅰ	小林 由里子	2	【共通】	1～4	
9101918	GB.1181	秋	水	6	社会学Ⅱ	小林 由里子	2	【共通】	1～4	

※1　この科目は地域交流科目です。全学教育科目としても履修できます。地域交流科目については別冊子を確認してください。

※2　教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」2 単位を必修とします。

※3　教育学部 1 年生はこの科目を履修することができません。

※4　この科目は教育職員免許状取得を希望しない学生は履修できません。教育学部の「学外活動・学外学習Ⅱ」と重複して単位を取得することはできません。

（2）基礎科目（自然科学系）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102001	GS.1211	春	火	3	線形代数学入門	茨木 貴徳	2	教･済･営･社	1～4	
9102002	GS.1211	春	木	4	数学の見方	山形 紗恵子･池田 敏和･両角 達男･茨木 貴徳	2	教･済･営･社	1～4	
9102003	GS.1211	秋	月	3	例からはじめる微分積分	山本 光	2	【共通】	1～4	
9102004	GR.1211	春	木	1	微分積分Ⅰ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9102005	GR.1211	春	木	2	微分積分Ⅰ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9102006	GR.1211	春	金	1	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1～4	
9102007	GR.1211	春	金	2	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1～4	
9102008	GR.1211	秋	木	1	微分積分Ⅱ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9102009	GR.1211	秋	木	2	微分積分Ⅱ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9102010	GR.1211	秋	金	1	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1～4	
9102011	GR.1211	秋	金	2	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1～4	
9102012	GR.1211	春	月	3	線形代数Ⅰ	加田 修	2	教･済･営･社	1～4	
9102013	GR.1211	春	月	4	線形代数Ⅰ	加田 修	2	済･営	1～4	※5
9102014	GR.1211	春	水	1	線形代数Ⅰ	佐藤 健治	2	経営	1～4	※5
9102015	GR.1211	秋	月	3	線形代数Ⅱ	加田 修	2	教･済･営･社	1～4	
9102016	GR.1211	秋	月	4	線形代数Ⅱ	加田 修	2	済･営	1～4	※6
9102017	GR.1211	秋	水	1	線形代数Ⅱ	佐藤 健治	2	経営	1～4	※6
9102018	GR.1211	春	木	2	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教･済･営･社	1～4	
9102019	GR.1211	春	木	3	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教･済･営･社	1～4	
9102020	GR.1211	秋	木	2	数理科学Ⅱ	野間 淳	2	教･済･営･社	1～4	
9102021	GR.1211	秋	木	3	数理科学Ⅱ	額田 順二	2	教･済･営･社	1～4	
9102022	GR.1211	秋	火	3	数理科学概論	野間 淳･数理科学EP各教員	2	【共通】	1～4	※7
9102023	GR.1211	第1	月	4	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きA	影井 清一郎	1	【共通】	1～4	
9102024	GR.1211	第2	月	4	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きB	川井 謙一	1	【共通】	1～4	
9102025	GR.1211	秋	木	3	トポロジー	根上 生也	2	【共通】	1～4	
9102026	GB.1211	春	金	3	コンピューターで学ぶ統計学A	千島 昭宏	2	【共通】	1～4	
9102027	GB.1211	秋	金	3	コンピューターで学ぶ統計学B	千島 昭宏	2	【共通】	1～4	
9102028	GB.1211	春	木	3	統計学Ⅰ－A	伊藤 有希	2	教･済･営･社	1～4	※8
9102029	GB.1211	秋	火	2	統計学Ⅱ－A	本橋 永至	2	教･済･営･社	1～4	
9102030	GB.2211	春	月	5	統計学Ⅰ－C	辻 裕之	2	理･都	2～4	※9
9102031	GB.2211	秋	月	5	統計学Ⅱ－C	辻 裕之	2	理･都	2～4	※9
9102032	GR.1221	春	木	5	物理の世界A	野村 高一	2	教･済･営･社	1～4	
9102033	GR.1221	秋	木	5	物理の世界B	野村 高一	2	教･済･営･社	1～4	
9102034	GR.1221	春	火	4-5	体験物理科学A	野村 高一･関谷 隆夫	2	教･済･営･社	1～4	
9102035	GR.1221	秋	火	4-5	体験物理科学B	野村 高一･関谷 隆夫	2	教･済･営･社	1～4	
9102036	GR.1221	春	金	4	物理工学概論	上原 政智･物理工学EP各教員	2	【共通】	1～4	※10
9102037	GU.1221	第4	木	4	地球と惑星の科学Ⅰ	青山 慎之介	1	【共通】	1～4	
9102038	GU.1221	第5	木	4	地球と惑星の科学Ⅱ	青山 慎之介	1	【共通】	1～4	
9102039	GS.1291	秋	木	2	科学文章の書き方 －悪文から学ぶ－	権谷 佐織	2	【共通】	1～4	
9102040	GR.1231	春	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教･済･営･社	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102041	GR.1231	秋	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1～4	
9102042	GR.1231	春	火	2	化学の世界A（物質観としての化学）	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1～4	
9102043	GR.1231	春	木	1	化学の世界B（生活の化学）	鵜川 彰人	2	教・済・営・社	1～4	
9102044	GR.1231	秋	月	2	化学の世界C（環境の化学）	真名垣 聡	2	教・済・営・社	1～4	
9102045	GR.1231	秋	月	2	化学の世界D（生命の化学）	樫村 吉晃	2	教・済・営・社	1～4	※11
9102046	GS.1241	秋	火	4	生物地理学入門	倉田 薫子	2	【共通】	1～4	
9102047	GR.1241	秋	木	4	生命科学	平塚 和之・他	2	【共通】	1～4	※11
9102048	GR.1241	春	木	5	生態工学	目黒 伸一	2	【共通】	1～4	
9102049	GU.1241	第1	火	3	古生物の科学Ⅰ	間嶋 隆一	1	【共通】	1～4	
9102050	GU.1241	第2	火	3	古生物の科学Ⅱ	間嶋 隆一	1	【共通】	1～4	
9102051	GU.1241	第1	火	4	生物の世界Ⅰ	菊池 知彦・他	1	【共通】	1～4	
9102052	GU.1241	第2	火	4	生物の世界Ⅱ	菊池 知彦・他	1	【共通】	1～4	
9102054	GS.1251	春	月	3	身近な電気と機械	坂本 智	2	【共通】	1～4	
9102055	GR.1251	秋	月	5	科学技術史	庄司 高太	2	【共通】	1～4	
9102056	GR.1251	春	月	2	海事技術史	南 清和	2	【共通】	1～4	※1,12
9102057	GR.1251	春	木	4	物質工学と社会	三角 隆太	2	【共通】	1～4	※1,13
9102058	GR.1251	春	火	3	材料学入門	中尾 航・梅澤 修・材料工学EP各教員	2	理工	1～4	※14,15
9102059	GR.1251	春	火	5	材料学入門	中尾 航・梅澤 修・材料工学EP各教員	2	【共通】	1～4	※14
9102060	GR.1251	春	木	2	エネルギー工学序論	奥山 邦人・光島 重徳	2	【共通】	1～4	※13
9102061	GR.1251	春	水	4	機械工学と社会とのかかわり合い	熊谷 頼範	2	【共通】	1～4	※16
9102062	GR.1251	春	水	1	機械工学と社会とのかかわり合い	榊田 明宏	2	【共通】	1～4	※16
9102063	GR.1251	秋	水	4	海洋工学と社会	海洋空間のシステムデザインEP各教員	2	【共通】	1～4	※1,12
9102064	GU.1251	第4	火	3	土木史と文明Ⅰ	細田 暁	1	【共通】	1～4	※17
9102065	GU.1251	第5	火	3	土木史と文明Ⅱ	細田 暁	1	【共通】	1～4	※17
9102067	GU.1251	第1	火	4	国土学とグローバル社会Ⅰ	中村 由行・他	1	【共通】	1～4	
9102068	GU.1251	第2	火	4	国土学とグローバル社会Ⅱ	中村 由行・他	1	【共通】	1～4	
9102070	GK.1251	春	月	2	物質と量子の相互作用　～機器分析を始める前に	谷村 誠	2	【共通】	1～4	
9102071	GR.1261	春	火	3	図形科学	栗原 正明	2	【共通】	1～4	※18
9102072	GR.1261	春	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※18
9102073	GR.1261	春	木	4	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※18
9102074	GR.1261	春	火	4	図形科学	栗原 正明	2	【共通】	1～4	※18
9102075	GR.1261	秋	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※18
9102076	GS.1261	春	火	4	POV-Rayで学ぶ はじめての3DCG制作	山本 光	2	【共通】	1～4	
9102077	GR.1261	春	木	4	情報科学	岡嶋 克典	2	済・営	1～4	
9102078	GR.1261	秋	木	4	情報科学	金田 徹	2	済・営	1～4	
9102079	GR.1261	春	火	1	地球環境と情報	大矢 勝	2	【共通】	1～4	
9102080	GR.1261	秋	月	4	コンピュータシステムとコミュニケーション	河野 隆二・濱上 知樹・森 辰則	2	【共通】	1～4	
9102081	GR.1261	春	金	3	電子情報システム概論	辻 隆男	2	【共通】	1～4	※19
9102082	GR.1261	春	金	3	情報工学概論	長尾 智晴・情報工学EP全教員	2	【共通】	1～4	※20
9102083	GU.1261	秋	火	3	情報と社会	室井 尚	2	【共通】	1～4	
9102084	GI.2261	秋	金	4	デジタルクリエイティブ基礎	田名部 元成・他	2	【共通】	2～4	
9102085	GI.1261	秋	月	3	情報セキュリティ入門	志村 俊也	2	【共通】	1～4	
9102086	GI.1261	春	水	2	情報ネットワークシステム入門	志村 俊也	2	【共通】	1～4	
9102087	GI.1261	秋	火	3	プログラミングによる思考と表現の基礎	塩野 康徳	2	【共通】	1～4	
9102088	GI.1261	秋	木	5	ICTナレッジマネジメント・コラボレーション	田名部 元成・徐 浩源	2	【共通】	1～4	
9102089	GS.1271	秋	木	4	環境化学概論	津野 宏	2	【共通】	1～4	
9102090	GS.1271	秋	火	3	海洋地質学入門	未定	2	【共通】	1～4	
9102091	GR.1271	春	火	3	エネルギーと環境	大山 力	2	【共通】	1～4	※1
9102092	GR.1271	春	木	3	安全・環境と社会	澁谷 忠弘・他	2	【共通】	1～4	※1,13
9102093	GU.1271	秋	水	3	建築の環境と防災	田才 晃・杉本 訓祥・他	2	【共通】	1～4	※1,21
9102094	GU.1271	秋	月	4	都市と建築	大原 一興・他	2	【共通】	1～4	※21
9102095	GU.1271	第1	火	3	環境リスクとつきあうⅠ	中村 達夫・他	1	【共通】	1～4	
9102096	GR.1271	第2	火	3	環境リスクとつきあうⅡ	中井 里史・本藤 祐樹	1	【共通】	1～4	
9102097	GU.1271	第4	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅰ	酒井 暁子・他	1	【共通】	1～4	※1
9102098	GU.1271	第5	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅱ	松田 裕之・他	1	【共通】	1～4	※1
9102099	GU.1271	春	月	5	地域連携と都市再生A（ヨコハマ地域学）	内海 宏・志村 真紀	2	教・済・営・理	1～4	※1
9102100	GR.1271	秋	木	4	応用気象学	上野 充	2	【共通】	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102101	GU.1271	第4	月	2	地質リスクマネジメントⅠ	崔 瑛	1	【共通】	1～4	
9102102	GU.1271	第5	月	2	地質リスクマネジメントⅡ	崔 瑛	1	【共通】	1～4	
9102103	GS.1281	春	火	4	居住環境論	佐桑 あずさ	2	【共通】	1～4	
9102104	GS.1281	春	火	3	食教育論	三戸 夏子	2	【共通】	1～4	
9102105	GS.1281	春	火	3	食育	大村 恵利・杉山 久仁子	2	【共通】	1～4	
9102106	GH.1281	秋	水	4	健康の科学	大重 賢治・藤川 哲也・福榮 太郎・杉山 明子	2	【共通】	1～4	
9102107	GG.2251	秋	木	3	研究開発論－大学・企業・イノベーション－	為近 恵美	2	【共通】	2～4	
9102108	GA.1291	秋	火	4	天才科学者列伝	上ノ山 周・瀬川 悦生・根上 生也・長谷部 勇一	2	【共通】	1～4	
9102109	GS.1291	秋	火	4	2020年東京オリンピック・パラリンピックと共生社会	高野 陽介・泉 真由子	2	【共通】	1～4	
9102901	GB.1211	春	水	7	数学Ⅰ	落海 望	2	済・営	1～4	※5
9102902	GB.1211	秋	水	7	数学Ⅱ	落海 望	2	済・営	1～4	※6
9102903	GB.1211	春	水	6	統計学Ⅰ－B	坂原 樹麗	2	教・済・営・社	1～4	
9102904	GB.1211	秋	水	6	統計学Ⅱ－B	坂原 樹麗	2	教・済・営・社	1～4	
9102905	GB.1221	春	金	6	物理学Ⅰ	渋谷 一夫	2	教・済・営・社	1～4	
9102906	GB.1221	秋	金	6	物理学Ⅱ	渋谷 一夫	2	教・済・営・社	1～4	
9102907	GB.1231	春	木	6	化学Ⅰ	矢ヶ部 重隆	2	教・済・営・社	1～4	
9102908	GB.1231	秋	木	6	化学Ⅱ	矢ヶ部 重隆	2	教・済・営・社	1～4	

※5　「線型代数Ⅰ」「数学Ⅰ」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。

※6　「線型代数Ⅱ」「数学Ⅱ」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。

※7　理工学部「数物・電子情報系学科数理科学 EP」の必修科目。

※8　経営学部「経営学科」の必修科目（社会人教育プログラムを除く）。

※9　理工学部「機械・材料・海洋系学科海洋空間のシステムデザイン EP」の選択必修科目。

※10　理工学部「数物・電子情報系学科物理工学 EP」の必修科目。

※11　「化学の世界 D（生命の化学）」「生命科学」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。

※12　理工学部「機械・材料・海洋系学科海洋空間のシステムデザイン EP」の必修科目。

※13　理工学部「化学・生命系学科」の準必修科目。

※14　理工学部「機械・材料・海洋系学科材料工学 EP」の必修科目。

※15　理工学部「機械・材料・海洋系学科材料工学 EP」1 年次生対象クラス。

※16　理工学部「機械・材料・海洋系学科機械工学 EP」の必修科目。

※17　都市科学部「都市社会共生学科」「都市基盤学科」の学生は履修できません。学部教育科目として同一科目が開講されますので、希望する場合はそちらを履修してください。詳細は都市科学部履修案内で確認してください。

※18　「図学Ⅰ」（専門基礎科目）と重複して単位を取得することはできません。また、「図学Ⅰ」を開講していない学部及び学科を優先します。

※19　理工学部「数物・電子情報系学科電子情報システム EP」の必修科目。

※20　理工学部「数物・電子情報系学科情報工学 EP」の必修科目。

※21　都市科学部「建築学科」の学生は履修できません。

（3）グローバル教育科目

①世界事情科目

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9103001	GJ.2711	秋	火	3	台湾事情	四方田 千恵	2	【共通】	1～4	
9103002	GJ.2711	秋	月	3	韓国事情	金 蘭美	2	【共通】	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9103003	GQ.2711	秋	金	3	ベトナム事情	田名部 元成	2	【共通】	1～4	
9103004	GQ.2711	秋	不定期		インドネシア事情	高橋 弘司・頼 俊輔	1	【共通】	1～4	
9103005	GQ.2711	第3	集中		ブラジル事情	山崎 圭一	2	【共通】	1～4	
9103006	GQ.2711	春	不定期		パラグアイ事情	藤掛 洋子	2	【共通】	1～4	
9103007	GQ.2711	第1	火	4	中国事情Ⅰ	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	1～4	
9103008	GQ.2711	第2	火	4	中国事情Ⅱ	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	1～4	
9103009	GA.2711	春	不定期		現場から考える国際開発協力：JICA連携講座	小林 誉明	2	【共通】	1～4	
9103010	GA.2711	秋	月	2	グローバル・シティズンシップ	山本 泰生・山崎 圭一・金馬 国晴・横尾 恒隆・中村 栄子	2	【共通】	1～4	
9103011	GQ.2711	秋	木	3	グローバル人材と持続的開発：JICE連携講座	未定	2	【共通】	1～4	
9103091	GJ.1711	秋	月	3	日本事情　日本の就職事情	長谷川 健治	2	【共通】	1～4	※22
9103092	GJ.1711	春	月	3	日本事情　日本の企業システム	長谷川 健治	2	【共通】	1～4	※23

※22　この科目は留学生対象の科目です。

※23　この科目は留学生対象の科目です。留学生以外で履修を希望する学生は、別途案内を確認してください。

②国際交流科目

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9103101	GR.2722	春	金	3	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	西村 明俊	2	【共通】	1～4	
9103102	GR.2722	秋	火	4	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	熊崎 美枝子・松澤 幸一・金井 俊光	2	【共通】	1～4	
9103103	GR.2722	秋	金	4	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	佐藤 恭一・中野 健	2	【共通】	1～4	
9103104	GU.2722	春	水	5	Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	守田 正志・田中 伸治・和仁 良二	2	【共通】	1～4	
9103105	GY.2722	秋	月	2	Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Work	ウキュウ, アンジェラ	2	【共通】	2～4	
9103106	GY.2722	春	月	2	Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Career	ウキュウ, アンジェラ	2	【共通】	2～4	
9103107	GY.2722	秋	月	3	Academic Presentation Skills	ウキュウ, アンジェラ	2	【共通】	2～4	
9103108	GY.2722	春	月	3	Business Presentation Skills	ウキュウ, アンジェラ	2	【共通】	2～4	
9103109	GY.2722	春	木	2	World Legal Systems and Management Philosophy	荒木 一郎・鈴木 雅久	2	【共通】	2～4	
9103110	GY.2722	春	木	4	Arabic language and its Culture	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103111	GY.2722	秋	木	4	Elements of Linguistic Knowledge	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103112	GY.2722	春	火	4	Business Japanese Language and Culture A	松浦 光	2	【共通】	1～4	
9103113	GY.2722	秋	火	4	Business Japanese Language and Culture B	松浦 光	2	【共通】	1～4	
9103114	GY.2722	秋	水	3	Multicultural Practice	山本 泰生・吉田 昌平・他	2	【共通】	1～4	
9103115	GY.2722	秋	金	3	Multiethnic Japan	長谷川 健治	2	【共通】	2～4	※24
9103116	GY.2722	秋	不定期		Multiethnic Japan (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	2～4	※24
9103117	GY.2722	春	金	3	Yokohama Studies	長谷川 健治	2	【共通】	2～4	※25
9103118	GY.2722	春	不定期		Yokohama Studies (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	2～4	※25
9103119	GY.2722	秋	火	4	Advertisement Art A	塩谷 久米夫	2	【共通】	1～4	
9103120	GY.2722	春	火	4	Advertisement Art B	塩谷 久米夫	2	【共通】	1～4	
9103122	GY.2722	秋	木	3	Business Logics and Team Consensus	柏木 吉基	2	【共通】	1～4	
9103123	GY.2722	秋	木	4	Business Problem Solving Logics and Framework	柏木 吉基	2	【共通】	1～4	
9103124	GY.2722	春	木	3	Business Planning with Accounting and Finance	柏木 吉基	2	【共通】	2～4	
9103125	GY.2722	春	木	5	Business with Accounting & Finance for Entrepreneurs-ST3	鈴木 雅久・柏木 吉基	2	【共通】	1～4	
9103126	GY.2722	春	不定期		Business with Accounting & Finance for Entrepreneurs-SM	鈴木 雅久・柏木 吉基	1	【共通】	1～4	
9103127	GY.2722	秋	水	4	Global Leadership & its Communication-ST1	鈴木 雅久	2	【共通】	1～4	
9103128	GY.2722	秋	不定期		Global Leadership & its Communication-SM	鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103129	GY.2722	春	木	4	Modeling with Statistics and Meta-Data	柏木 吉基	2	【共通】	2～4	
9103130	GY.2722	秋	月	3	Business Planning and Proposal	細谷 功	2	【共通】	2～4	
9103131	GY.2722	春	月	3	Business Problem Solving and Project Management	細谷 功	2	【共通】	2～4	
9103132	GY.2722	春	火	4	Life-Long Planning and Global Career Design	竹内 上人	2	【共通】	1～4	
9103133	GY.2722	春	火	3	Facilitation and Management with Emotional Intelligence	竹内 上人	2	【共通】	1～4	
9103134	GY.2722	秋	火	4	Facilitation and Empowerment for Team Building	竹内 上人	2	【共通】	2～4	
9103135	GY.2722	秋	火	3	Business Communication and Emotional Literacy	竹内 上人	2	【共通】	1～4	
9103136	GY.2722	春	月	4	Business Planning with Intellectual Property	渡邉 知子	2	【共通】	2～4	
9103137	GY.2722	秋	月	4	Plagiarism and its Regulations	渡邉 知子	2	【共通】	1～4	
9103138	GY.2722	第6	集中		ICT Literacy	アトチェ, グスタボ	2	【共通】	1～4	
9103139	GY.2722	第6	集中		ICT Project	アトチェ, グスタボ	2	【共通】	1～4	
9103140	GY.2722	春	月	2	Cyber Studies	永野 寛	2	【共通】	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9103141	GY.2722	秋	月	2	Modeling with Calculus and Algebra	永野 寛	2	【共通】	1～4	
9103142	GY.2722	第4	火	5	Advertisement Art A Ⅰ(Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103143	GY.2722	第5	火	5	Advertisement Art A Ⅱ(Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103144	GY.2722	第1	火	5	Advertisement Art B Ⅰ(Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103145	GY.2722	第2	火	5	Advertisement Art B Ⅱ(Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103146	GY.2722	春	月	3	Multicultural Conferece C (Arts & Culture)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	
9103147	GY.2722	春	金	3	Multicultural Conferece D (Business & Economy)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	
9103148	GY.2722	秋	月	3	Multicultural Conferece A (Arts & Culture)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	
9103149	GY.2722	秋	金	3	Multicultural Conferece B (Business & Economy)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	
9103150	GY.2722	春	水	3	Elements of Linguistic Knowledge #2	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103151	GY.2722	春	金	4	Collaborative Studies #2	山本 泰生・鈴木 雅久	2	【共通】	1～4	
9103152	GY.2722	秋	金	4	Collaborative Studies #1	山本 泰生・鈴木 雅久	2	【共通】	1～4	
9103153	GY.2722	秋	集中		Collaborative Studies #3	鈴木 雅久・山本 泰生	2	【共通】	1～4	
9103154	GY.2722	春	集中		Collaborative Studies #4	鈴木 雅久・山本 泰生	2	【共通】	1～4	
9103155	GY.2722	秋	集中		Collaborative Assistanship A	鈴木 雅久・他	1	【共通】	1～4	
9103156	GY.2722	春	集中		Collaborative Assistanship B	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	
9103157	GY.2722	秋	集中		Collaborative Associateship A	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	
9103158	GY.2722	春	集中		Collaborative Associateship B	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	
9103201	GY.1721	春	集中		海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103202	GY.1721	春	集中		海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103203	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy ⅠA	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103204	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy ⅠB	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103205	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy ⅡA	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103206	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy ⅡB	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103207	GY.2722	春	不定期		Transcultural Practice in Overseas Ⅰ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103208	GY.2722	春	不定期		Transcultural Practice in Overseas Ⅱ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103209	GY.2722	春	不定期		International Volunteer Ⅰ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103210	GY.2722	春	不定期		International Volunteer Ⅱ	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103211	GY.1721	秋	集中		海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103212	GY.1721	秋	集中		海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9103213	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy ⅠA	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103214	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy ⅠB	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103215	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy ⅡA	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103216	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy ⅡB	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	
9103217	GY.2722	秋	不定期		Transcultural Practice in Overseas Ⅰ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103218	GY.2722	秋	不定期		Transcultural Practice in Overseas Ⅱ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103219	GY.2722	秋	不定期		International Volunteer Ⅰ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	
9103220	GY.2722	秋	不定期		International Volunteer Ⅱ	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	

※24　「Multiethnic Japan」「Multiethnic Japan（Seminar）」は、同一学期内に同時履修することが必須です。片方の科目だけを履修することはできません。

※25　「Yokohama Studies」「Yokohama Studies（Seminar）」これらの科目は、同一学期内に同時履修することが必須です。片方の科目だけを履修することはできません。

（4）イノベーション教育科目

①入門的基幹知（領域）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104001	GS.2811	秋	木	3	生涯発達の特徴と課題	園田 菜摘	2	済・営・理・都	1～4	
9104002	GS.2811	秋	月	2	現代社会と心理学	高本 真寛	2	済・営・理・都	1～4	
9104003	GS.2811	秋	月	2	ESD（持続可能な開発のための教育）と消費者教育	松葉口 玲子	2	済・営・理・都	1～4	
9104004	GE.2812	第4	水	2-3	Global Economy	張 馨元	2	【共通】	2～4	
9104005	GU.2811	春	金	5	都市科学A（グローバル・ローカル）	齊藤 麻人・他	2	教・済・営・理	1～4	
9104006	GU.2811	第4	火	4	都市科学B（リスク共生）	佐土原 聡・他	1	教・済・営・理	1～4	

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104007	GU.2811	第5	火	4	都市科学C（イノベーション）	彦江 智弘・他	1	教・済・営・理	1～4	
9104008	GU.2811	第4	水	1	都市環境リスク共生論A	佐土原 聡	1	教・済・営・理	2～4	
9104009	GA.2811	秋	金	2	スキル向上につなげる「英語」	小林 正佳	2	【共通】	1～4	

②技術革新思考（領域）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104101	GE.2821	春	火	3	数理統計	永井 圭二	2	【共通】	2～4	
9104102	GR.2821	春	月	2	システム・エンジニアリング	田村 直良	2	【共通】	1～4	※1
9104103	GR.2821	秋	火	4	イノベーションと社会	平田 照二	2	【共通】	2～4	

③社会実装戦略（領域）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104201	GE.3831	秋	木	3	知的財産法	白鳥 綱重	2	【共通】	3～4	
9104202	GB.3831	秋	金	5	国際イノベーションマネジメント論	高田 直樹	2	【共通】	3～4	
9104203	GB.2831	春	木	4	技術経営論	真鍋 誠司	2	【共通】	2～4	
9104204	GR.2831	春	火	4	知的財産権	宍戸 充	2	教・済・営・社	2～4	
9104205	GU.2831	第4	月	1	都市計画と交通	中村 文彦	1	【共通】	2～4	※26
9104206	GC.1831	春	不定期		地域課題実習Ⅰ	志村 真紀・他	1	【共通】	1～4	※1
9104207	GC.1831	秋	不定期		地域課題実習Ⅱ	志村 真紀・他	1	【共通】	1～4	※1
9104208	GC.2831	春	不定期		地域課題実習Ⅲ	志村 真紀・他	1	【共通】	2～4	※1
9104209	GC.2831	秋	不定期		地域課題実習Ⅳ	志村 真紀・他	1	【共通】	2～4	※1
9104210	GR.2831	春	火	2	工業経営	梅田 充	2	【共通】	1～4	
9104211	GA.2831	春	月	2	Zero Carbon Yokohama ―文理融合・産官学民で考えるサステナビリティ―	氏川 恵次・松本 真哉	2	【共通】	1～4	
9104212	GB.2831	春	木	3	イノベーション・マネジメント概論	安本 雅典	2	【共通】	2～4	

※26　都市科学部「都市基盤学科」「環境リスク共生学科」の学生は履修できません。学部教育科目として同一科目が開講されますので、希望する場合はそちらを履修してください。詳細は都市科学部履修案内で確認してください。

④キャリア形成実践知（領域）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104301	GA.1841	春	水	3	Wake up! プロジェクト	市村 光之	2	【共通】	1	
9104302	GA.1841	春	金	4	まなび座Ⅰ・校友会リレートーク	市村 光之	2	【共通】	1	
9104303	GA.1841	春	月	3	キャリアデザイン	市村 光之	2	【共通】	1～2	
9104304	GA.2841	秋	月	3	グローバル化と日本人	市村 光之	2	【共通】	1～4	※1
9104305	GA.2841	秋	水	2	ビジネス・コミュニケーション	市村 光之	2	【共通】	2～4	
9104306	GA.3841	春	金	4	まなび座Ⅱ・リーダーシップ実践	市村 光之	2	【共通】	2～4	
9104307	GA.3841	秋	金	4	キャリア・ケーススタディ	市村 光之	2	【共通】	2～4	
9104308	GD.2841	秋	火	4	ライフキャリアを考える	鈴木 紀子	2	【共通】	1～4	

★YNU リーディング・レクチャ・シリーズ（YNU Leading Lecture Series）（再掲）

時間割コード	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考	中区分	小区分①
9101041	GA.1161	秋	火	3	〈良い議論〉をするための法哲学	米村 幸太郎	2	【共通】	1～4		基礎科目	人文社会系
9102108	GA.1291	秋	火	4	天才科学者列伝	上ノ山 周・瀬川 悦生・根上 生也・長谷部 勇一	2	【共通】	1～4		基礎科目	自然科学系
9103009	GA.2711	春	不定期		現場から考える国際開発協力：JICA連携講座	小林 誉明	2	【共通】	1～4		グローバル教育科目	世界事情
9103010	GA.2711	秋	月	2	グローバル・シティズンシップ	山本 泰生・山崎 圭一・金馬 国晴・横尾 恒隆・中村 栄子	2	【共通】	1～4		グローバル教育科目	世界事情
9104009	GA.2811	秋	金	2	スキル向上につなげる「英語」	小林 正佳	2	【共通】	1～4		イノベーション教育科目	入門的基幹知
9104211	GA.2831	春	月	2	Zero Carbon Yokohama ―文理融合・産官学民で考えるサステナビリティ―	氏川 恵次・松本 真哉	2	【共通】	1～4		イノベーション教育科目	社会実装戦略

【授業科目名変更等に伴う重複履修の禁止科目について】

次の表の「2019 年度開講授業科目」欄の授業科目に対し，右に掲げる授業科目を既に履修した者は，既にその科目を履修していることから重複履修できません。

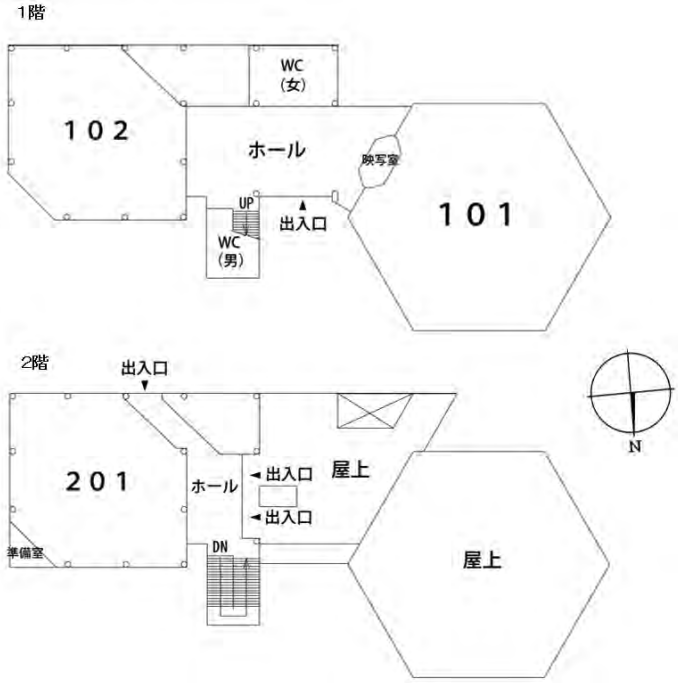
2019年度開講授業科目	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目
ESD（持続可能な開発のための教育）入門	ESD（持続可能発展教育）入門 (2017)
家族生活と法	社会生活と法 (2018)
化学の世界D（生命の化学）	生命科学 (2018)
生命科学	化学の世界D（生命の化学） (2018)
日本事情　日本の就職事情	日本事情　日本で働く (2017)
Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci (2017)
ESD（持続可能な開発のための教育）と消費者教育	ESD（持続可能な開発のための教育）入門 (2018) ESD（持続可能発展教育）入門 (2017)
生涯発達の特徴と課題	生涯発達論 (2018)
現代社会と心理学	心理学B (2018)

【読替科目等に伴う重複履修の禁止科目について】

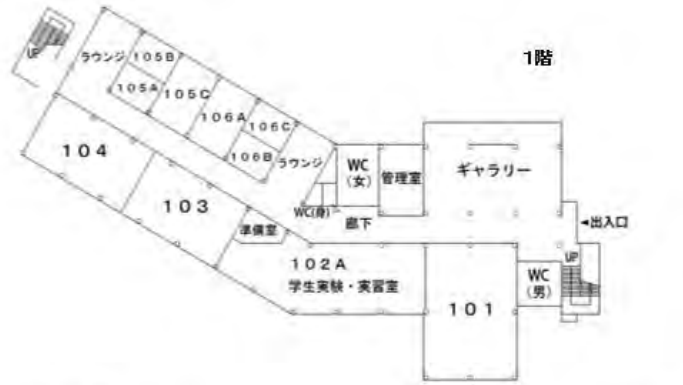
本学で開講している科目には、科目名は同じであるが履修対象者によって開講形態が異なり、システム上履修を制限している科目があります。次の表の「2019 年度開講授業科目」欄の授業科目に対し，右に掲げる授業科目を既に履修した者は，既にその科目を履修していることから重複履修できません。

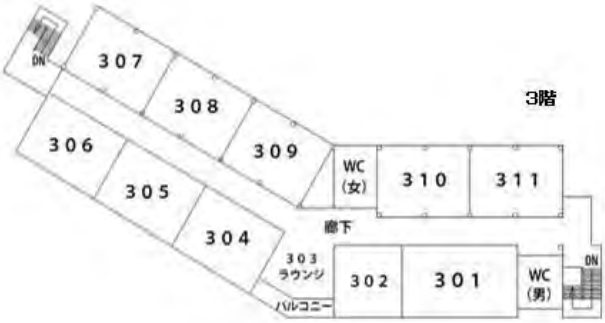
2019年度開講授業科目（全学教育科目）	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目
電子情報システム概論	電子情報システム概論　＜理工学部教育科目＞ (2017)
情報工学概論	情報工学概論　＜理工学部教育科目＞ (2017)
Global Economy	Global Economy　＜経済学部教育科目＞ (2018)
数理統計	数理統計　＜経済学部教育科目＞ (2018)
知的財産法	知的財産法　＜経済学部教育科目＞ (2018)
国際イノベーションマネジメント論	国際イノベーションマネジメント論 ＜経営学部教育科目＞ (2018)
技術経営論	技術経営論　＜経営学部教育科目＞ (2018)
工業経営	工業経営　＜理工学部教育科目＞ (2018)

【教育学部講義棟６号館】

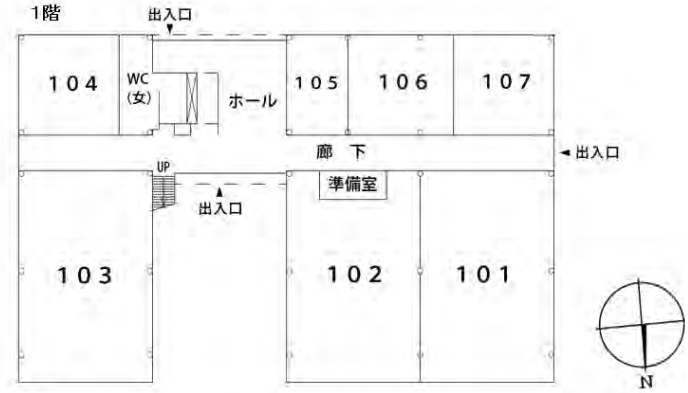


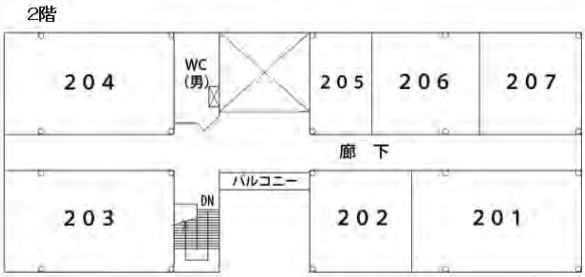
【教育学部講義棟７号館・化学実験室】





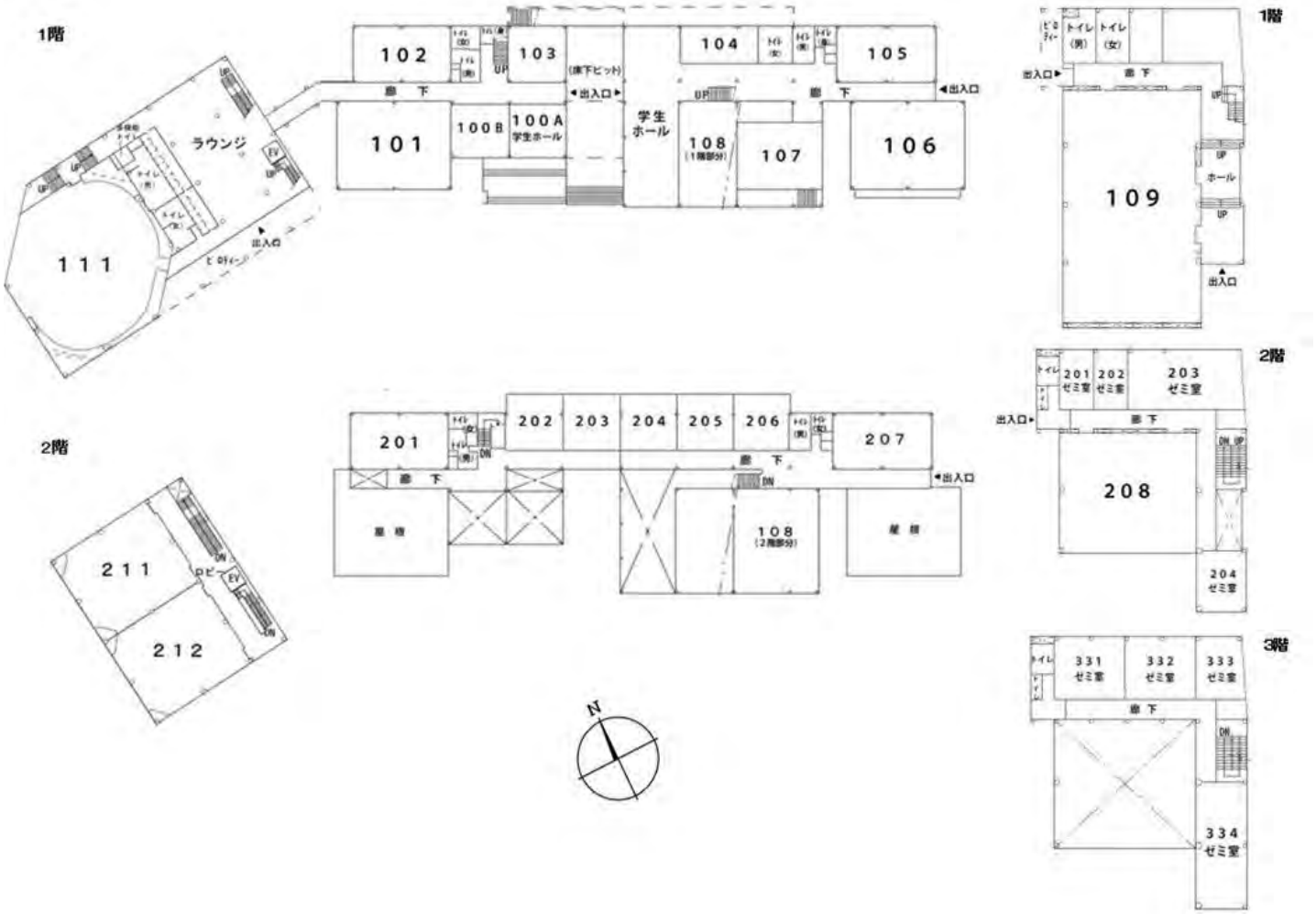
【教育学部講義棟８号館／都市科学部講義棟】





【経済学部・経営学部講義棟】

（経済学部講義棟２号館）　（経済学部講義棟１号館）　（経営学部講義棟１号館）　（経営学部講義棟２号館）



情報基盤センター

　パソコン教育室 A・B（キャンパスマップ S5-4）

　パソコン教育室 C・D（キャンパスマップ S5-2）

　パソコン教育室 E・F（キャンパスマップ S5-4）

　パソコン教育室 G　　（キャンパスマップ S3-6）

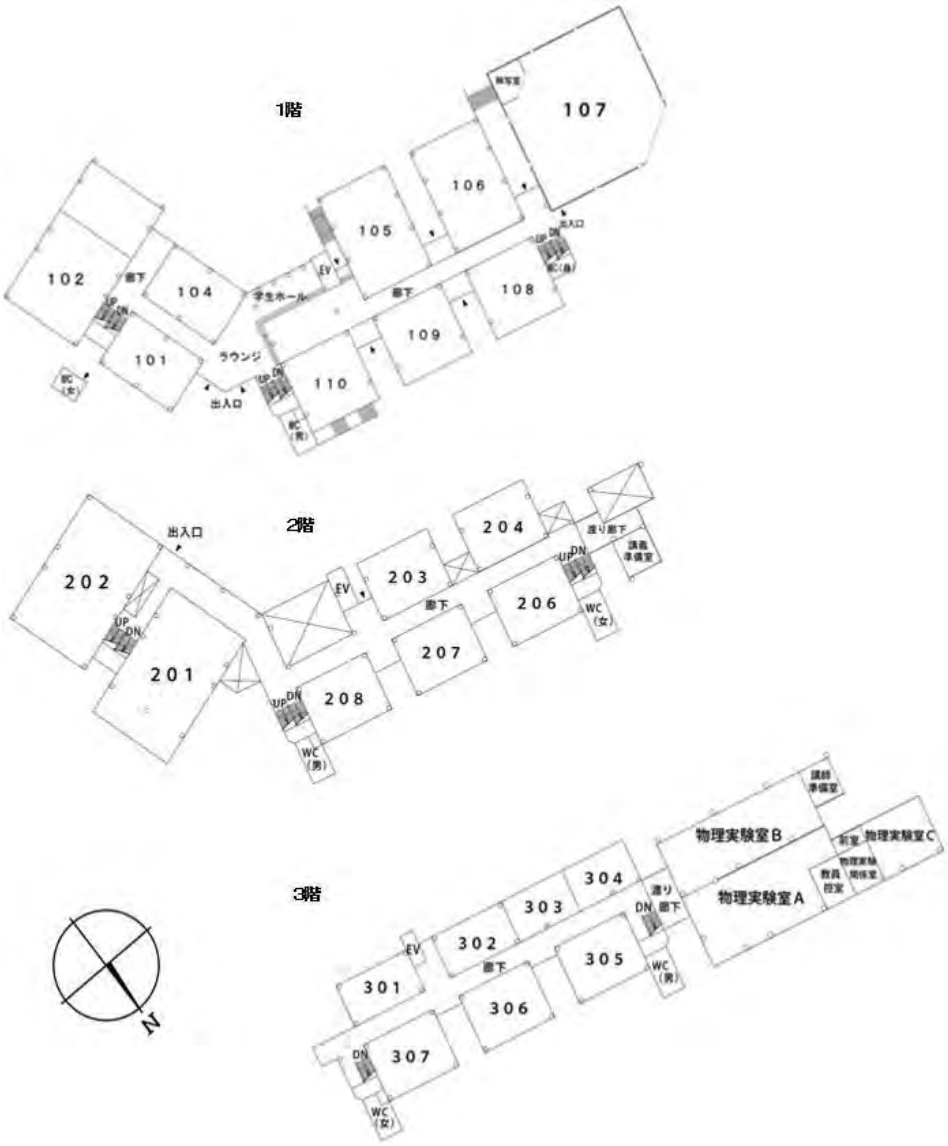
経済学部

　経済 PC プラザ：経済学部新研究棟 3 階（キャンパスマップ N4-4）

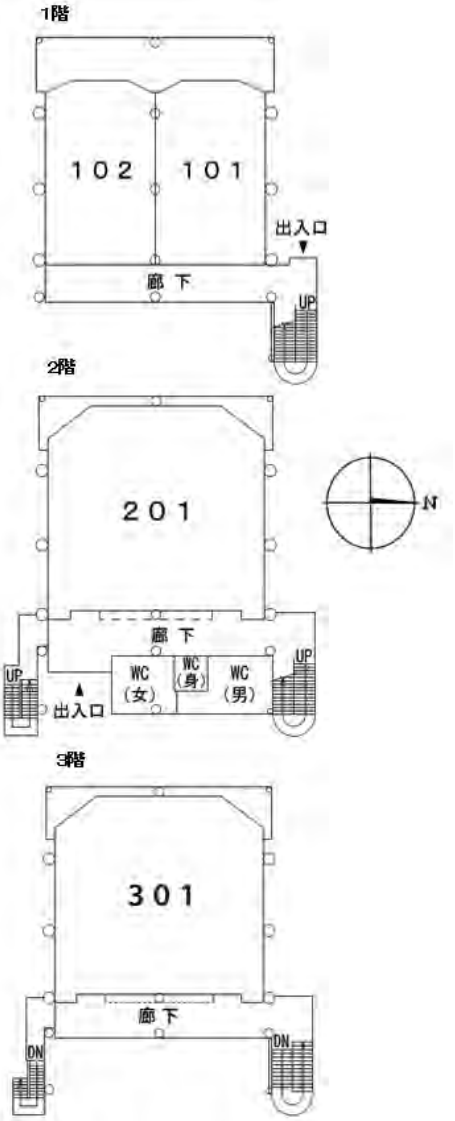
経営学部

　経営 PC 教室：経営学部 1 号館 3 階（キャンパスマップ N3-4）

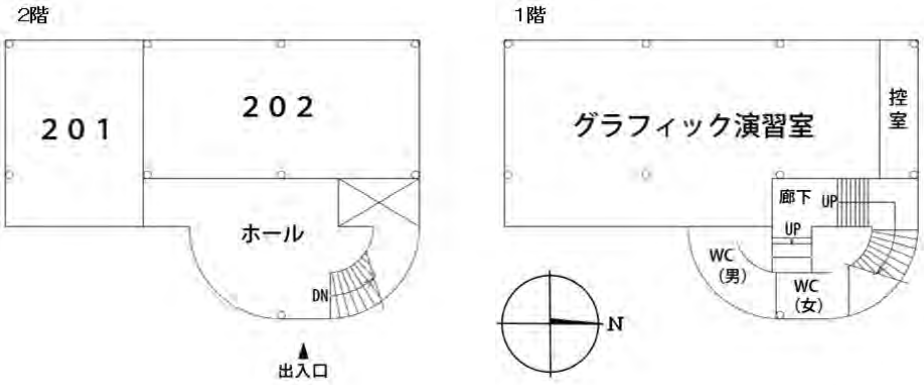
【理工学部講義棟Ａ・物理実験室】



【理工学部講義棟Ｃ】

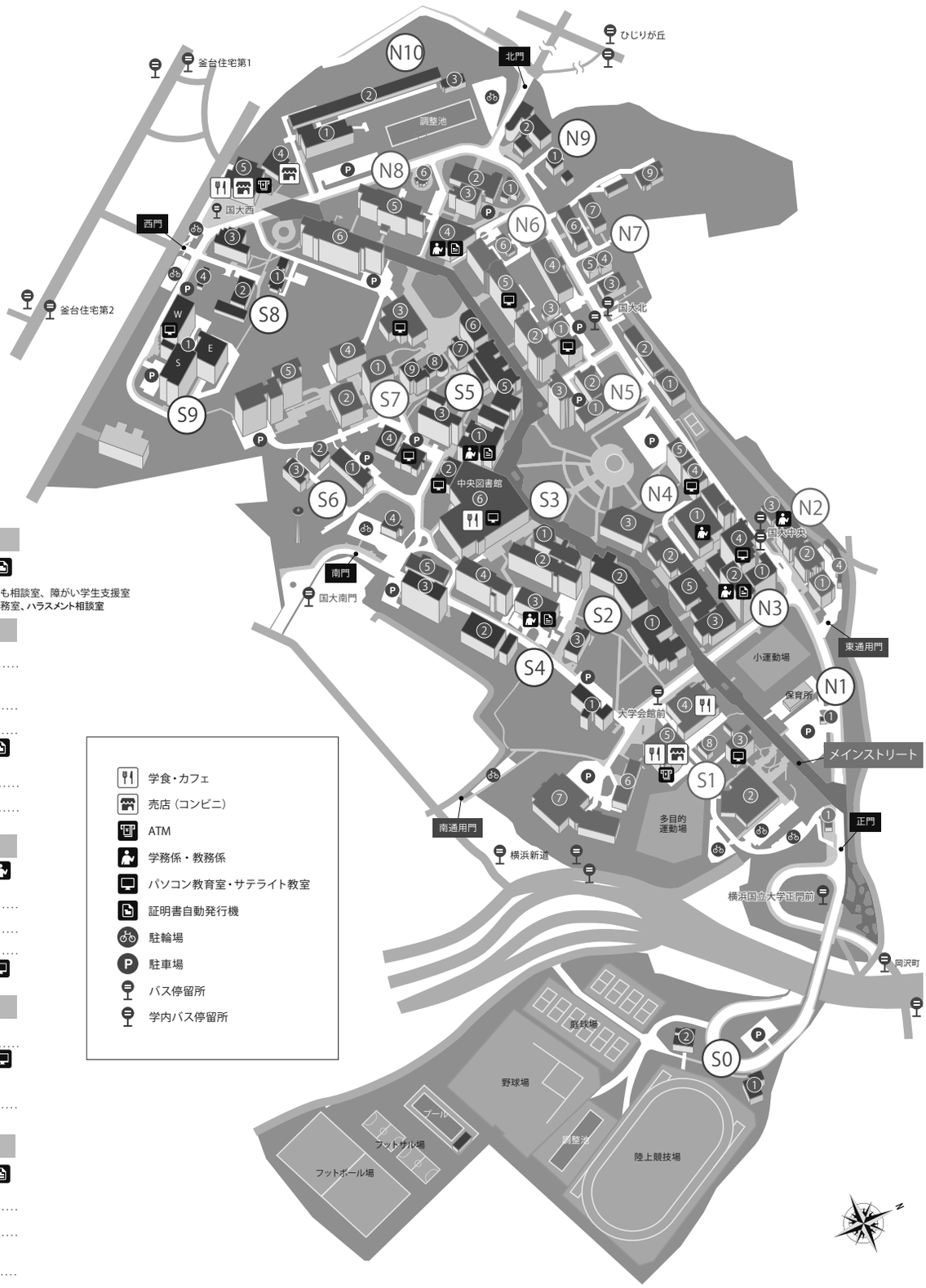


【理工学部講義棟Ｂ】



CAMPUS MAP

横浜国立大学 キャンパスマップ



- 学食・カフェ
- 売店（コンビニ）
- ATM
- 学務係・教務係
- パソコン教育室・サテライト教室
- 証明書自動発行機
- 駐輪場
- 駐車場
- バス停留所
- 学内バス停留所

事務局

S5
1. 学生センター
   1階：保健管理センター、ナビ・ポート
   2階：学生支援課、教育企画課、国際教育課、なんでも相談室、障がい学生支援室
   3階：キャリア・サポートルーム、免許状更新講習事務室、ハラスメント相談室

教育学部

S2
1. 教育学部講義棟8号館／都市科学部講義棟
2. 教育学部講義棟7号館
   2階：化学実験室

S3
1. 教育学部講義棟6号館
3. 教育学系事務棟
   ［学生窓口］2階
   学務第一係

S4
1. 教育学部5号館（音楽棟）
2. 教育学部4号館（美術棟）

経済学部

N4
1. 経済学部1号館
   ［学生窓口］1階
   経済学務係
2. 経済学部講義棟1号館
3. 経済学部講義棟2号館
4. 経済学部新研究棟
   3階：経済PCプラザ

経営学部

N3
3. 経営学部講義棟2号館
4. 経営学部1号館
   ［学生窓口］1階
   経営学務係
   3階：経営PC教室
5. 経営学部講義棟1号館

理工学部

N8
4. 理工学系事務棟
   ［学生窓口］2階
   理工学部教務係

S5
5. 理工学部講義棟A
6. 工学基礎研究棟
   3階：物理実験室
7. 理工学部講義棟A（107）
8. 理工学部講義棟B
   1階：グラフィック演習室
9. 理工学部講義棟C

都市科学部

N2
3. 本部西棟
   ［学生窓口］2階
   都市科学部学務係

S2
1. 教育学部講義棟8号館／都市科学部講義棟

附属図書館

S3
6. 中央図書館
   PC教育室G

S7
3. 理工学系研究図書館

全学教育研究施設等

N4
1. 地域実践教育研究センター

S1
2. 教育文化ホール
3. 国際教育センター

S5
2. 情報基盤センター別館、高大接続・全学教育推進センター
   PC教育室C・D
4. 情報基盤センター
   PC教育室A・B・E・F

厚生施設

N10
4. Sガーデン（カフェテラス、コンビニエンスストア）
5. 第2食堂、大学生協

S1
4. 第1食堂（れんが館）
5. 大学会館、大学生協本部

運動・課外活動施設

S0
1. 体育サークル会館
2. 運動場管理棟

S1
6. 文化サークル共用施設
7. 体育館・武道館
8. 弓道場射場

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

横浜国立大学 副専攻プログラム

地域交流科目

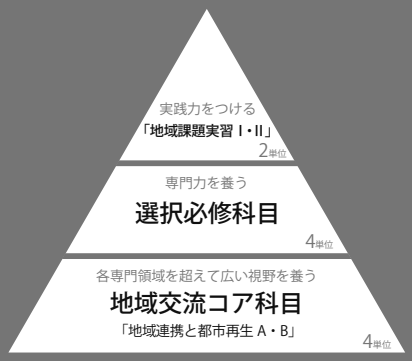
グローバルな視野をもって地域課題を解決する
先端的かつ複合的な**実践能力を身につける**プログラム

オリエンテーション
4/15（月）, 4/18（木）, 4/19（金）
昼休み・中央図書館メディアホール

YOKOHAMA

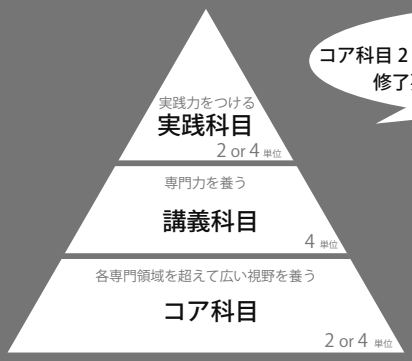
◎ 修了要件が改編されます

「修了証」の取得：計10単位



2018 年度まで

「修了証」の取得：計10単位



2019 年度から

コア科目 2 単位 + 講義科目 4 単位+実践科目 4 単位で修了要件を構成できるようになりました。

選択できる科目が増えました。

※2018 年度までに履修・参画している学生も、2019 年度からの新しい修了要件で修了申請をすることができます。

コア科目：2019 年度からコア科目が 2 つ加わります。

地域連携と都市再生A（ヨコハマ地域学） 春学期	地域連携と都市再生B（かながわ地域学） 秋学期	横浜学 -地域の再発見- 春学期	神奈川のみらい 春学期

実践科目「地域課題実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」：2019 年度からⅢ・Ⅳが開設され２年目の実習活動も単位化されます。

モビリティ・デザインの実践	かながわ里山探検隊	YNU×TOYOTA/NISSANプロジェクト
データで捉える地域課題・地域経済	ローカルなマテリアルのデザイン	まちに開いた交流の場のデザイン ー住宅地の価値を上げるー
屋台まちづくりプロジェクト -屋台で横浜のまちを変える-	New – New Townを考える -郊外まちづくりプロジェクト-	シェアハウスのデザイン ー欲しいすまいを自分でつくるー
おおたクリエイティブタウン研究PJ -モノづくりのまちづくりを考える-	市民活動を体験して考える 協働型まちづくりプロジェクト	みなとまちプロジェクト
都市の自然を楽しむライフスタイル	現代世界の課題の探索と協力の実践 ーネパール支援プロジェクトー	横浜「うみみらい」プロジェクト
和田べんプロジェクト	アグリッジプロジェクト	その他、学生公募型プロジェクト

実践科目：地域課題実習以外で実践科目として位置づけている「授業」・「プロジェクト」

実践地域と起業 全学教育科目	学外活動・学外学習Ⅰ 教育学部	ROUTEプロジェクト 理工学部

横浜国立大学　地域実践教育研究センター
YNU Global-Local Education and Research Center

詳しい情報はオリエンテーションorHPから：検索 地域実践センター　http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp